比律賓の獨立と

その經濟的背景

米大統領の裁可疑問

リッピンの確立を許可することは

復興に努力

上海邦人に早

我方より抗議的警告

軍縮兩問題の意見交換

長岡大使歸任

(刊日)

聯盟當局、支那代表に 日支交渉繼續を勸告 内政上交渉停頓は不可

既さ、突然順行を称めたが、支那はこれが突縮を避つて居る、然ら網扇聯盟の勧告に 應ずるを得ないものと映られてゐる年後五時支那代表觀察療を招致らて支那が内政上の理由から上海の日支直接交渉を選くるは 不可なる旨を調査委説の報告を待ち委試會では之に極れないと映られて居るが、事物總長ドラモンド氏、鵬級委員會時長イーマンス氏は夫々十六日第24元十十十六日登】艦級委員會は來週中一應形式的に開き、經過報告後成行を観望する機談、又滿洲間壁は「ジュネーケ十六日登」艦級委員會は來週中一應形式的に開き、經過報告後成行を観望する機談、又滿洲間壁は「ジュネーケ十六日登」艦級委員會は來週中一應形式的に開き、經過報告後成行を観望する機談、又滿洲間壁は「ジュネーケ十六日登」艦級委員會は來週中一應形式的に開き、經過報告後成行を観望する機談、又滿洲間壁は 撤收時期確定の方法

【ジュネーグ十六日登】長崎代表は十六日午後七時イーマンス議長の代理たるドラモンド氏で含見し、同氏より上部傍殿突然の打除に関して七時四十五分齢去し、佐藤大使以下で解論の後本衛に議師とた場合に直に被兵を行ふこと、する窓につき説明を受する十九回殺、師ち日本軍の施選時期に関しては獅山艦蛇のが湖を続きた現地における混合委員會の認定によってて七時四十五分齢去し、佐藤大使以下で解論の後本衛に議師とた 長岡代表外務本省に請訓

長岡我代表意見を語る

側の満鐵附屬地滯在かも 相當考慮せられた

安員會草案に内諾

樣 書官語る に出られざるべきことは 減解の信じて疑はざる所なり、 を所の信じて疑ばざる所なり、 るのである。(つづく)

東朝の社説

新黨樹立委員會

赤松氏一派の準備

鄭州に戒嚴令 社民黨大衆黨 に合同交渉

馮玉祥系の反逆

謝總長りが外相に照會

を反逆を全てだものこいはれて 「関軍は職式群が要職にて総か。 なべく全市に取り大捜査中でも

大狼猴では球底十分に失業者の牧 ・火狼猴・てんるが、結局斯くの如 大狼猴・てんるが、結局斯くの如 大狼猴・てんるが、結局斯くの如 大狼猴・てんるが、結局斯くの如 大狼猴・大狼猴・大き犬のが 一週五日中の動 一週五日中の動 一週五日中の動 一週五日中の動 一週五日中の動 一週五日中の動 職者に要求すべく目下難りに考究を 年末に是非共石補助費の婚額を大 深た祝ひ傳ざる事明らかなので七

从然陸路

視察を重要視し

主張

は佐然隆路滿洲人の一ためで、殊にアメリカ側は往年の をねが、實際問題さし 総登螺道の関係もあり、かたん となが、實際問題さし 総登螺道の関係もあり、かたん をなが、實際問題さし 総登螺道の関係もあり、かたん をなが、實際問題さし 総登螺道の関係もあり、かたん を表記すツコイ料軍は入滿 第 である。配して聴い。 これが陸海峡路に分れた場合に東 獸醫部長會議 一、但心年修二千五百弗以下の者 本均條給額迄追加給奥を求める 事を得 獨大統領の訓令

員を雇傭する事を得

大の長と届建一橋 第二歳との極調!

定價 五十美

中央公論社發行

洲國の實體を

歴報は一本につき五百<u>囲</u>さ常局の 野和は一本につき五百<u>囲</u>さ常局の 架設料值下 東京市內電話 は、スルリン十六日登 大統領はクレーナー内様に難も共和家での他が表示を表示とこの同窓家師の旅跡での他がより、大統領はクスを表示といる立場となり、大統領はクスを表示といる立場となり、大統領はクスを表示といる立場となり、大統領はクスを表示といる立場となった。

この値下りで智翆者は悲鳴を駆げが此が決定した、昨年は九百圓、

ワシ ある 日週制案 米大統領の五

調查團漸~認識 顧の入滿拒絕から 羅外交部長 辭表提出

對日交渉難から

駆か見るはでであ

要禁討会管大谷一男中將は十九日陸軍歩兵學校長へ轉補した元旅順 大谷中將は 來る廿日離滿

社會黨に合流

らかなしみのよを皆様の前に捧げます」とのです。源を揮べて、飾りを捨て、私はこのです。源を揮べて、飾りを捨て、私はこのは、ない載とる手に流れか、

With Comme

院でどんな謎が突されるか、魔影で掛かれた本篇を歌、被職、モダン、マダム等々、それらの女態の歌な常置短篇美容院の人、そ繁質短篇美容院の人、そ

婦讀 本佐藤春夫

か物にしたなの話から、大よりも神を愛する女。 ロマン連乳女、休職陸軍大尉女史の話などこれ程 でするがあららか。

きする女性は婦人公論を讀め!! 變った女の

の頁その他貴女方の幸福と力を育 む讀物滿載。强く朗らかに生きん

多き酣の春の讀物、特輯讀者慰安きわけよ、つよくすなほに!! 魅

11中央政治會議を開いて討議を重 海路入滿に反對 を提出したが正耀帝、那介在等が とない間してゐる

顧維鈞、意思を表明

さいふにある になず
縦者及び功績者は無制限に奏任

案の内容 夜間中學認定

た終り、選に道光二十

果を見るさ阿片の吹

ではない。町ち個人さしての阿片ではない。 中郷の心理は、普通人の不可解

如何にも誇大な言葉のやうである。これは

家そのものが、酸糖的に一大阿片

は、國民の全部が中毒者であるば

近世に至ってモルフ

する所であるやうに、中國の画家

だ決定されるには至らない

小學校長の

奏任待遇

五月中旬實施

本 『東京十七日景』 無産筋労許平に 変配中學認定の機本が針について は文部者首勝部間に既に意見一致 なみてゐるが、更にそのが法形式 につき常原で左の延く立程した 、夜間中學を中學校令を改正し て認定する案 一、夜間中學を中學校今を改正し で認定する案

では記する案 一、夜間中學を專檢制度を擴張して認定する案

るの心にはつきりで、

佐藤建築事務所

支那の國民性

奉天にて 佐藤熊男

を放撃することの総鉄

身が、阿片奥吸者

総師の中報者であり、残縁の三領の歌生中、少くこもその一割は異

これを要するに、現在の支那四個

のである。

不可能なるない

のに外ならない。故に取径の支那いだと、 中歌者たりと離先の

代の天子で、阿片禁

主義より來る というこの回民は の外書の歌るべきを感べて、解析では明書であっただけに、阿片 れた紹集さらて 賞時の名崇相さらて名高い洪水鳴 では、 歴史に増加らて あったからである。 これは洪水鳴 この がかっこの回民は の外書の歌るべきを感べて、「解析」 上した。 をして変時の名崇相さらて名高い洪水鳴 この が原でする た。これは洪水鳴その人が溢者で で、 あつたからである。 ことが その であったがらである。 ことが その

海路入満の構

『東京十七日登』社民際残留本部 一川、曾書県 に 合流 上 一流 図 上 に 同点は大光底に全國勢度大彩版 『東京十七日登』下り郷三郎氏の 『東京十七日登』下り郷三郎氏の 『東京十七日登』下り郷三郎氏の 『東京十七日登』下り郷三郎氏の 『東京十七日登』下り郷三郎氏の 『東京十七日登』下り郷三郎氏の 『東京十七日登』下り郷三郎氏の 『東京十七日登』下り郷三郎氏の 『本主義、『東京十七日登』下り郷三郎氏の 『本主義、『東京十七日登』下り郷三郎氏の 『東京十七日登』 下り郷三郎氏の 『東京十七日登』 「大大学院」 「大学院」 「大大学院」 「大大学院」 「大学院」 「大大学院」 「大大学院」 「大学院」 「大大学院」 「大学院」 「大学院」 「大学院」 「大学院」」 「大学院」 「大学

失業救濟費削減

内務省増額要求せん

空開少佐

★三十男・四十男・五十男の心理 死s凱旋

H

初段日野忠延〈大連二

MCAS(

三の戰績を得

5

10た外電影、午後六時盛會
ナーム像勝、午後六時盛會

大連商業

滿鐵貨費制度 大生の自殺

内贝行十元 すらさは陽中

禁本社前 間

往復フル・マラソ

展長、職會長に學務課長を押し城 上の目解を達成せんさするもので

一 るる、なほその競技権目で歌歌のと では アンの血は沸きかへり徐雲されて では たの通りである 一 一 を表 、 在 正 不 一 本 では に 左 の 一 の ま 、 な に そ の 競技権目 一 百 米 の 百 米 で ま 一 本 で ま こ 本 で ま こ か ま で よ で こ ま で ま で こ 江刺家C盟O津山C工D友

選手資格審賞員、須藤(智)服田(工)内淵(工) 代表委員、大藤(智)聚(韓)重 第(工)村澤(工)井本(工)【奉天 電話】 約が代表する コシアル環境とするも 「滿洲を舞臺さするも フランスな環境とす キリスがまたそれに

で引換て質ひたいさ

(東北大學教授) 同

出て、郷く際間 になってか低な中 になってか低な中 になってかいなるが があるが があるが があるが は、光日程語り

大連市役所では十九日午後五時半 から窓東ホテル六際にがて第二師 歌歌旅跡隊の海土館以上探徐會を 歌歌旅跡隊の海土館以上探徐會を 改訂縮

鬼岸菜河川河川河上神器 展小小英國大大大上今井稻片市石石石安縣 澳 木木 英國本港村原西西台條川治早野野 前縣 海內野中野村應村 原 田郎生野 播村村 仁诚 永太 衆 八 清靈雅靈 今 文 田曜清縣 三二男又吉一宣治愛彦隆十武 太太 兵並永 茂歷武朝 知太陽 正 民大清島太三 郊 郊 郊 夫 介 鄉 郎 三 郎 一 松 一 二 夫 郎 武 郭 郎 章 葡萄 精 曹 雄 一 華 藏 純 行 郎 雄 久 一 技田宮町震荡島野井 保谷 保谷 村博之義操信貞前 武 伐襲首治三太正專 - 明如如三三吉如如尺髓春太穩治男一如郎郎道一達吉衛郎雌郎勝彦晉助孝三夫治一法禪夫

AREARCA BEARACA BEARAC

がのきるぬぼろ 祖知の業は天 報日 査調 **蕃六六七四哥·町河駿市迪大**







掛五二三四話電



出



満鐵、關東廳を破 きのふの春季劍道大會成績

籃球リ

第一日(十七日)の成績

四中吉丸3-0赤崎黑の一一沙河口工場 -3和泉

1水

發催

四月二十四

日

午後一時本社前出發

州學校體育聯 盟設立協議會

一一一日の戦機左の如と ルの谷チームだづ一勝した、協築 ルの谷チームだづ一勝した、協築

▲YMGA30――19大商 単技爾伯仲とて好ゲームを見せ 下が、スタフを多く持たない商 業に不利で結局三十對十九YM に名を成さらめた

締 切 期 月 所

申込方法

記し参加料五十錢を添へること住所氏名年齢職業所屬團體を明

三、其他
三、其他
三、其他
三、其他
三、其他

に就き第一回協議會を開催するこ 各學校の猛練習 滿洲學生陸上競技

日本さの 眼中に置いて

ではない、アメリ 領土は過大であり

千歳カ闘空し

南滿工專勝つ

雨中のラグビー

地土産に

果

鑵 詰

名物でなか本舗

示と

具態家を提出する事となつたよこして何等得る所なく▲綿殿イーマ しまって下って、難りクドクマリ島いのでないか▲ りまくて継ばでやるので繋がかり易くて継がなり、上海でやるので動りがないがかり易くて継ばのががかりあくて継ば出する事となったとこ

処上の本質力、これを で、キャナダ、深州、 ロシアの如きものさ、 ロシアの如きものさ、 アンアの如きものさ、 である、ア を保障する力、また

ますっストリアな最短こしての豪生 社 そして、この総総主義は日本のへられても整支へない。 それだけの理解を附けて

にして呼び成長する粉茶を待つ。法的デモクラシーは、用意を新た 凱旋兵招待會

報

を構成してゐるここは一時確認然一中魔階級が今日ファッショの背景が一般を成立てあらう

大生の場合に見るも

き事件である。 き事件である。 芝しい有像な漂年を饗成してく だっここは誠に感謝すべきである。とかし如仲に有意義な態度 でも運用か嬲ればその目能を十

で ・ になかつたさなり、ケ にながったさなり、ケ

を玩物しながらも、こかも機能にいったがあるとはより、悠々と學生を活験の人事をがなり、着いまして治験には、立場は學生を活験を表現して治験に

學素以外に人格と常識の完成にして、かれらが 程ひざい成績でなければ再採用滿臟社覚中から派遣する者は除

常局が 戴に學査に 野してゐる だけの金な學校に 智附し、學校 に 特別し、學校 そ、かゝる獣度は膨止してそれはごうしても無理がある、いつ

だがこんな器人條就職継時代に さか知つて居られる客だ。 さか知つて居られる客だ。 に、上下から破壁され、酸率も 社會に出て傾向さの交流も側流

友とも羅針盤ともなるであられての告解、特徴なる内容と、別は弦に一大決意の下に、断然なに其後時を經ると共に外である。多事多端の現代に虚ながある。多事多端の現代に虚ながある。多事多端の現代に虚ながある。

后後に引下して大衆普及版を い意の下に、断然内容を改訂して、 学經ると共に本書再刊の希切 なる内容と、 平明、 完美なる と共に本書再刊の希切 はなる内容と、 平明、 完美なる と共に本書の ですして 賣切れ 明く本書を座右に置けば 一学を改訂し、十五圓の虚況を見る 一学を改訂し、十五圓の虚況を見る 一学を改訂し、十五圓の虚況を見る 一学を改訂し、十五圓の虚況を見る 一世で記述を見る 一世で記述を見る

の時 あ 5

電6085世 電22660世

(若し書店に品切れの際、直 大 特 價 (送料)十二段料

壹千

町下岩梁區芝市京東

磁二〇四八京東管組

格進 呈

見內

大連市監部通り 大連市監部通り 大連市監部通り

をしてGominumbleに な並に附近の家屋全観 をしてGominumbleに

個数萬、瀕死の重備者十萬に及

河井大夫御差遣に中容中の販係兵で他一般に中容中の販係兵で他一般に中では十八日午前十時積須賀海軍府は十八日午前十時積須賀海軍府に十八日午前十時積須賀海軍府

新くて我軍の出動を快よしてしな 地飲を満洲國師に要求してゐる、 鐵の揺ぎ莫大なりさして繁俸隊の

の支験を楽してゐる、ロシアは東なつた職もあり列車の運行に多大なつた職もあり列車の運行に多大

東支東部線

自縄自縛の勞農

【ハルビン十七日發】間島が配を一起路の酸長殿瀬中縣以下將兵〇〇

北大營戰闘實演を

調査團に見せる

支那の逆宣傳を懸念

美濃町大火原因

まだ判らぬ

損害は四萬四千餘圓

造、兼子溝一帯に蟠居してゐる

を表記が大火の原践については大連 製印法像で十七日午後も現象を開 製印法像で十七日午後も現象を開 大一元は 依然明らず、た

殿三萬六十二百 報事になる。

全焼十六戸の動

火災による

態々決行に極まった

密輸取締方を

『東京十七日数』 報道はれたメー

愈上決行

一二千個、他 コサノ二千圓

ボ市に到着

長春到着

は汝奈脇飛行場で三萬餘の既然をの赤鯱に成る朝鮮愛国號の命名式の赤鯱に成る朝鮮愛国號の命名式

農安附近に

坐佛盗まる「神物館を

匪賊出沒

大阪、京都、兵庫の五府職のみで一意味を称して行されてゐるのは東京、神奈地、業のうちに物を国に唱かけた、目下以年送が執

廣瀨○團部隊

命名式

朝鮮愛國號の

きのふ全國で少年保護デー

王德林司令部

北満騒亂陰謀の

本部口黑河

反吉林軍某國と策謀

を 信又は顕複せしめて暴遊の限りたと 信教教成大、貧客が車を繋撃し排った。 質客が車を繋撃し排かる。 はないこ見極めたとめて暴遊の限りた

、體目星

p

團

売して居た王徳林の司会部は十五 日夜兵二百な軽ねてボクラニチナ

二千名の匪賊

八五十名

活動を続けてゐる、近く觀々一てゐる 十七日までに樹葉された東國共産 ・ 関長際戦十二名父も逮捕さる ・ 関長際戦十二名父も逮捕さる 震男女を加へ既に六十餘名に上つ 嫌疑者を逮捕

| 間島十七日登|| 我間島派邀車主 た、王德城軍は老爺蒙西北五里の た、王德城軍は老爺蒙西北五里の た。王徳城軍は老爺蒙西北五里の を模様である を模様である を模様である を模様である 琿春方面を狙ふ

旅順聯隊の

大力・ ・ ・ 大力・ ・ ・ ・ ・ ・ 大刀會の五十名 三十職隊三年兵除隊兵五百

王徳林ご策謀

十九日午後四時三十五分旅艇職会 中學愛國號

○○名は十七日午後二回に取り水 でありの概で変形の銀色長春姜」 解散式 東京十六日登別 天皇陛下の御料の 東京編はこの程完成され一木宮楸 東京十六日登別 天皇陛下の御料の

御料車下檢分

指標で中であり、 酸が単常療保験に 一が哈里溶験保験験の報告 一が哈里溶験保験験の報告 が哈里溶験保験験の報告

尾博通氏講演會

四月十九日夜七時

滿日講堂にて

なである に昨日報費の天野の際に下九日よ 柳條満附近においては事態前より が電信電話線を切除これを密取 する支那人あり、わが完備除では 養廃か変人を逮捕してぬたが、最 でので、わが完備除では では なって、なが完備除では では が 活機してゐると、 倫質土の軽ゆが 活機してゐると、 倫質土の軽ゆが 活機してゐると、 倫質土の軽ゆ

大連署管内の

道各教聯合會

聯合分會

十五戸全域と同六時鍼火とた

は一走らたが彼は鰻中に磁石を所持し むけである、更に一月から三月まましたが彼は鰻中に磁石を所持し むけである、更に一月から三月まな の一名を射器し他は際にまざれ密 が管内居住者のうちから出てゐる の一名を射器し他は際にまざれ密 が管内居住者のうちから出てゐる が の一名を射器し他は際にまざれ密 が管内居住者のうちから出てゐる が の一名を射器し他は際にまざれ密 が管内居住者のうちから出てゐる が の一名を射器し他は際にまざれ密 が管内居住者のうちから出てゐる が で 大連警託送係では管内の人口は毎月 大照の一名を射器した。 (本語 大連警託送係では管内の人口は一般 (本語 大連管内の人口は一般 (本語 大連警託送係では管内の人口は一般 (本語 大連警託送係では管内の人口は一般 (本語 大連警託送係では管内の人口は一般 (本語 大連警託送係では管内の人口は一般 (本語 大連警託送係では管内の人口は一般 (本語 大連警託送係では管内の人口は一般 (本語 大連管内の人口は一般 (本語 大連座 (本語 大連座 大連座 (本語 大語 大連座 (本語 大連座 (本語 大語 大語 (本語 大連座 (本語 大語 大語 (本語 大語 大語 (本語 大連座 (本語 大語 大語 (本語 大語 大語 (本語 大語 大語 (本語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 (本語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 大語 (本語 大語 (本語 大語 大語

野に人口繁変繁化数を売せば左の を表、十月から十二月にかけ機働、 を、十月から十二月にかけ機働、 を、十月から十二月にかけ機働、 を、十月から十二月にかけ機働、 を、十月から十二月にかけ機働、

少年法發布記念

は、東京十七日餐」全國中學生好學 一些へ盛大に軽待した を生の十段就金がらなる愛園鏡を命名 のふの名式 「軍に観点されるが大鷺五月五日頃 のふの名式 生の十段就金がらなる愛園鏡が陸 丘八声 一変人 図 號。

兵庫愛國號き のふ命名式

來月五日命名式舉行

五月二〇六、八一八三五三 五月二〇六、八一八三五二 本殿館は大連丸と 四月二〇六、八一八三五二 本殿館は大連丸と 四月二〇六、八一八三五二 大連丸と 五月二〇六、八一八三五二 大連丸と 一月二〇六、八一八三五二

泰順號曳航

不許可か

電無難同點が提出した勢術集等 が、東京出版、勢術等の勢術集 大学部脈は日本運輸合同、関東 大学部脈は日本運輸合同、関東 大学の場合で組織する勢 が、東京出版、勢術等の勢術集

くら小師に変を現はし太公認と歌けられてのた歳具も賦物と言いに卑いられてのた歳具も賦物と言いに早

各種參考書出版

版
大阪市心
青橋北
結

k

堂

書

店

马屿

【東京十七日数】東京市の行政整理による人成整理数は二百四十三 東京市の整理

心臓療行か政行せんさする吉心極関による緊急、東京間太 期して水陸兩用機な單衝操

吉原飛行士 ニューヨーク着

中等學校各種虎の卷目録

日本各 界各國酒類 8 食 無代進呈 料品 店

(日曜月) 職について電談を得ひ、講綵を聴試調査試一行に見せることになつた『拳天電話』 駆委員に懸念されてゐるので、我軍は一行の來滿を機會に九月十八日夜の軍事行動及北大營の戦 我軍の行動については、支那帳の管際により訳声館に行はれたるものの如く誤解してゐる館が職 日本館では來滿する聴踪一行の視察につき自下説り運飾の萬金を期もてゐるが、殊に事整當日の

えるのよ

ない物でいる機能が下されてある 千駄ケ公ないかといる機能が下されてある 千駄ケ公のでは、大元と原

の最大し住宅三十様八一

激震

の家屋は殆ご倒壊

傷十數萬に上

3

農製に從事は一般の日文事に秋の日文事 の回復成り安んじて七十三名はこのほど

長春避難鮮人 に歸る 安東、大連、徳山よりの影響は新 地方であるので関東殿野物管局は 十四管内の各警察器に獣し殿東政 が監示した 果樹組合臨時

村五

の多代ぶりを見

十六日午前中少佐の配塾だった ものが午後は何時の間にか起二 っに魅りすつかり中佐になって った魅りすっかの間にか起二

光烟醫院 歌院

追而燒失材料へ一部分ノミニ付營業ニハ 名御伺洩モ可有之乍略儀紙上ヲ以テ不取敢名御耐洩モ可有之乍略儀紙上ヲ以テ不取敢 名御一次を 東古美濃町倉庫類燒ノ際ハ早速御恥付昨夜弊店美濃町倉庫類燒ノ際ハ早速御恥付 **整替新盛多智久松商店**



洋行

謝近火御見舞

席御料 電話三人马六番



想像以上

高野中隊凱旋

青年聯盟組織

兒玉輸組理事談

内地の滿洲熱

医賊横行す

殆ご全滅す

うして共の低粉を遂行し得るであの時は第一総鉱粉者は一層意を強

海城縣の

ら知れずこれがため農氏

本が職事なる者か、現今第子が職に書いては「他れも関々こしてぬるため、大は他れも関々こしてぬるため、大 せしむべく見本を取寄せ研究中で は平北、咸南、咸北三道の國境地 は平北、咸南、咸北三道の國境地 防彈衣を着用

は第一総鯱務者は一層意を強いる事になるらこく窓場で 一、執政より下賜金分配方に就て 新國家執政より地方救濟資金さ もて海城縣に對し下賜せられた 金一千二百個は之れを大洋に兩一 替の上縣下各區に對し一百六十 替の上縣下各區に對し一百六十

馬賊死刑執行 原

関することとなってゐる 銃器類取締り

事兵連戦(『ご長山事李常(『心)三勝 安東殿(公戦で北方 大郎 日道亞州、陸松野、金 せられる無統 器で取ると 大郎 日道亞州、陸松野、金 せられる無統 2000年のあると 本の 1000年の 10 五月上旬開催される日満職合運動 | 駅公署に於て其際路部調を為した 鎮江山出店決定す

満鐵器院で

屍室を新築

井戸に死體 自殺と判明 **ド席は大阪府**

山臺西に

▲金井草灰氏

二時廿九分着急行にて四行員)一行三名、十四行員)一行三名、十 十六日急行で長春

東京名物高橋マピー郷職郷が職々

大石橋

外泉雪子來る

は強用回憶育協會は順支部主催の建國記念日消職合大運動會 内永安証験技場に於て盛大に開催

さあけみは意味ありげに笑ったに聞ふて下さいし

より外にが説はない。さうしなくれる一時なりさも肚三さ同様する

品質 價格の 容姿の美麗 便(MD)三十五銭 の高尚 0 低廉 優良



りわに各組費消及店廳。店品化物間小。店貨業名者の所を到 店理代捷洲浦 會商ルガーリ 京東

子露天挪巌張のため先年來土地及一家納百三十月の移輸に就ては古城がうし、 移轉圓滿解決 匪賊紅勝の

その再起の見込なし

開原憲兵隊に 兇賊二虎捕る 日本帝國施療班 今年も活動

が四月十四日ポ明に其の極込を襲が四月十四日ポ明に其の極込を襲家を廣林の長女李朱氏(こと)が奪いたなもの)さ共に連指も同いに於て殿重政策戦中 十五日より一ケ月間

高洲事態以來本漢湖方面の警備に では、 はでは、 はでは、

匪賊團來襲

日滿大運動會

大人は十六日本社へ転続された。 は関係な雄氏氏は十六日本社へ転続された。

椒往來

ち、その前に財三さ整い終束をしは後にすればよいこさにしますか バンを一口にのみほして、「総鑑 歩しませう。密歌して、でこ、 着手することに致しますわし ませんか、それな

「それはたえ子さん、あなたの胸 新 24

毒莨造製菜膏の確的能効 蒸餾水は面日採餾シて居ます

すで全部局薬るあ用信は薬

井上醫院 生殖器障碍

(前院医男岩) 医科密森藤

... 場馬 江庄锡馬 八七五八話電·話播盤常連大

二省らの騎馬賊 配展的に依り懸行することとなっ

は勿論一般に同氏の難解を組合更生の思人でおるので

運動熱の勃興

で日の吉辰を下し藤井慶徳 関原保線主

民族の融和をはかり建画精神のての運動競技を行ふとは必ずや

分 れてゐるが名書建裁海後氏、總裁、末殿当人の語るさ 建 常選院確康神器長以下融會長、職・報表・神らしい前標 度 常選院確康神器長以下融會長、職・報表・神らしい前標 を選及確康神器長以下融會長、職・報表・神らしい前標 を記した。自長無順線長夏賞氏、「最級の話れたを 要 常選院確康神器長以下融會長、職・報表・神らしい前標

今から

子は軽い失戦から見にかへ

のこさか傳へておきますわし

(259)

(四)

長春警察署で嚴探中

頻りに金品强奪

首腦者會議 日滿大運動會

社に要求してゐるさ 社に要求してゐるさ 社に要求してゐるさ

青年議會提出議案

安達氏

慰靈祭

ら整徳殿に然て壁谷底氏の整盤祭は十六

民族協和の具體的態度に闘すれ、壁の短く止むること、なつた

女、軍部な代表

北満警備の○團 續々北行す

主除は長春に駐屯す

名 際兵も之と入れ代りに近く職済師の野婦に知ることになった。 一部に野かた地がは、十二部は影響中野を指揮信さして北 だいの 第一部の野神に伝じく歯束支東部 きたり、在本の駐が職になった。 一部は影響中野を指揮信さして北 だとの で来た派が他の歌歌人自由 され郷く房口を脱して安東に影像の 第一部の野神に伝じく歯束支東部 か、十六日の光景師を提供に北 1000年後長春に向った、 1100年の東京部 1100年の 1100 東社普通學校は一時一ケ月間は、 教をしたのみで授業を續げて來たが 東社普通學校は一時一ケ月間は、 観束長官(代理) のので授業を續げて來たが 関東長官(代理) ので表現の のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 なり常態に後したさ

小學校谷代表

日満大運動會協議 りの見懸金一封な前記戦水池の塾 りの見懸金一封な前記戦水池の塾

三十餘名か覧してゐ

旅順商工協會 鬼 鷲目 一後六時からマダ

年不可能だっと思いますわ」 も、急に結婚するにしても、

監証都監浄村垂水六

この前に立ちふさがる後の間にこの前に立ちふさがる後の間に が、自分が死んだなら、春木は空が、自分が死んだなら、春木はないさ思

多少に拘らず

伊

勢町藥局

て死んでしまひ度いさも思った。 はなく頬を傷つて落ちるのだった

弊局製劑

大特製風

醫學博士

尾形

大連著狭町三(西通入) 電話セセセ六番

「曉星五郎」(第四席) 、明尚田米子、三

十二〇、全國教会の教徒の教徒の教徒の教徒の教徒の教育を表現の一個人工を表現を表現の一個教育を表現の一体教育を表現れる。 の栗はにあり、蔵一品質の

200

からか

も私のあない時に云つて下

で数ひ出すのか、それか数へて下 いました」さ元数して云ってるた 「驚ひましたから、何うして彩木 を数ひ出すのか、それか数へて下 かに数ひ出されますれ」 こあけみは急に難に力を入れて さうすれば軽木はたし

して敷い出しますわ。こん度の控訴してかりますからておいて下さい。親は春木兵まかしておいて下さい。親は春木兵まかしておいて下さい。親は春木兵まかしておいて下さい。親は春木兵まかしておいて下さい。親は春木 「それは今ことで時も上げること であなたは親の云ふここに多少の 「あなたは親の云ふここに多少の 「あなたは親がかられませんけれど、 というにであるなが、それを考へて 下されば、親が必ず軽木さんを軟 でするにが、なれた考へて

には行かなかつた。もし財 野されい響

人をあげるに相違ないさ思ふのだ においた秘密を繋飾して、別の犯 続するなら、あけみは腑にかくし

「控訴はいつあるのでせう」の時までに」 ての時までにたえ子さん、あなだ「何時あるかそれは解りませんが

ば、まだめなたのちかひん信じる して約米には背きませんわし

題に出るさ起が降りさうな空が たえ子は力なく立ちわがってい

▲自午後六時十分ニュース
▲見蛮科學講座「最近科學文明の
概拠」第三十四回、大連輔用高
等女學校大賞正

連 JOAK

子宮卵巣に放眠があつて、不無症を着+したが、手になります。 西郷氏 同れの歌歌のしないで、手間を吹きまりもところの手根のでは、手になります。 西郷氏 同科の歌小のでは、 手になります。 一般のでは、 手になります。 一般のでは、 手になります。 一般のでは、 手になります。 一般のでは、 手になります。 をはや

(-)

(日曜月)

通知に接する事を得ば欣幸さする所であるる利害關係を有する諸國の陸海軍及びそのな

になるこ見られてゐる。なほ本日の委員會では總會決議案の第三項を兩當事國に强調すべきであるこいふ意向が一般に表示された

係を有する諸國の陸海軍及びその他官派の助力を得て突渉を開始すべきここを勧める、聯盟總會の突渉進展に關し前記諸國より 決議第二項 停戦を具體的たらしめ且つ日本軍の撤退を規制する協定締結のために日支兩國代表が上海の居留地に特別な

コムシュニケ後表「ジュネーケナ六日豊」職職委員会になのコム

・は確定草案要求

支那代表部 1 拒否の態度

夜長岡、鎮黒腰崎代表と個々に會見し、次回の委員會に提案すべき假草

いては 今は余は 直接にない、従って上海問題にてない、従って上海問題には本國政府において虚置されては本國政府において虚置されては本國政府において虚置されては本國政府においてもの一般委員會には、それは本國政府においては同様には、それに十段する。十八日の一般委員會には、

71

のに繋じては非常に満足の意を表してゐる。 しかしイーマンス議長が密観に関し政治皈依性は附さるべきものでないで述べた には行尊窓に日本軍撤退完了の時期の明示なくこれが決定は継續委員會に委打あり、然も継續委員會は日本の一票により全會一致の決定。 では一般に行うでは、一般により担否するに傾いてゐる。とかしイーマンス議長が密観に関し政治皈依性は附さるべきものでないで述べた。 なる場所し日女顧問の態度を覧し協議したが、戦略するに日本は更に確定破害変を示されんことを求め意見を述ぶるを据べたさ、又支那の決定。 のに繋じては非常に満足の意を表してゐる

長岡日本代表

不議長で會見

結果大いに得るさころがあつた では首相タルジュ氏その他 アランス内閣々員ご會見懇談の

出した映像者、紫殿者、森泉観等の整理に暮らされてゐる



米露の接近實現か

問題は上海に

復歸

「午後四時学能源既代表と會見、十九回、ユネーザ十六日参] イーマンス、ドラ

十九國委員會家

八、九日頃十九國公開會議を開催止式決定の段

取さなり間壁はジュネーザから上海へ微瞳するものご見られてゐるを堪示し、南京と打合せの上受骸されたき冒希望した、よつて日支

聯盟の非公開委員會 米長官、土國代表と會

極東政策には しない

渡歐の目的は軍縮會議出席 スチムソン氏語る

の安藤中将

斯汗の本當の塞が」

大谷前要塞司令官談

手に入れるとが出來るんでせうし 「それを引上げるさ大變な変な、

遞友同志會は

總同盟脫退

管、秘書等を從へ本日午前八時ジ M 関称長官スチムソン氏は夫人、副 は 『ジニネーヴ十六日後』アメリカ 邦人が租界内において撃つた

た歴僧民統一萬人中十三日までに一番歌した者は僅かに三百九十名で

サカの 極東 政策につくる、而らて予は軍縮會議をのに多大の期待を置くが會議をは行されば何等の意味をなすものではない、アメ 信事態養生以來日本に引揚げてぬ なが、ないので比較的場が、ない。 ないでは、ないので比較的場が、ない。 南京委員會で

いかできます。 が発する事性にいる。 が発する事性にいる。 が発する事が研究。 な事をでいる。 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは 顧問題討議

第八師團の勇士達

米藍分型を機さし郷同盟より脱退。 たる組合基礎を育してゐた勢農園 の意だ同志會は今時の社會長 を の社會長

ラン、輸出五十二億フラン入超二 期フランス貿易に輸入七十三億フ

明朝ル時上陸開始、出迎へませ

5

支那、執拗に宣傳

調査團、整理に

弱る

辯護士会

胃總會

高橋氏

変めの上十七日早朝入港天港丸に 長官秘書官に伝命を見た小阪隆雄 長官秘書官に伝命を見た小阪隆雄 小阪秘書官來任

校旗商品の

御旗仕入に!!! 新調に!!!

幟・幕・旗勝優

本 量 朱

生さ狐の鳴き別れならモウコン

海陸兩方面よりる

入滿

一班に岐れ

某國委員、折衷案を提

日本海員組合

九日事建發生以來文那案氏のため

約四百名

上海歸還邦人

英艦厦門へ

類筋だらう。 ○が角を生やしたさいつて勢ん ったから遊げたり死なない発に、あるさ……」 「死れこと 「あたりまへぢやアないの、人間

該さ二人で、ごんな悪いここ様終だすなつたの?姿を見い見い也速 「人間は生物ださ也速該が云ふの 職業これ送は自分をからかつたり、 職業これ送は自分をからかつたり、 本職れさせなかった洋子が、今夜 だれかくり持たれかくり、間中ざ こへでも握らさせるばかりか、 類中ざ

御指定品



0 元倉橋政 次 商店 星進グロタカ るす眼臓に升入が米の合五 被機るすな儲金い白面

彼奴あなたを心度殺すわ」 た、純拗く彼奴に雖らうものなら 「妾を退治て興味を失って後で、 「姿わなたが大好きだわー好き 謎 態に機に

てこさ、婆知つてゐるからよ」「ざうしてこんな土地へ來たかつ

んな約束守るものですかし

伊藤順三

簡易保險好績

近く上海

モ氏の義勇軍

年 接勢の色もなく顔を元録で清鏡線。 一 おりから質に愉快であった」と (株) 二百二十九萬五千三百八十八 成績に成人保險一萬二千二百五十 成績に成人保險一萬二千二百五十 でなっているが六年度中の總が

たさる像さ 「久しく官邸にばかり居て陽にあれた社会が 御愛職養師京したが、車中部者には代表部 網長か見舞つて午後五時四十分横

三月中の滿洲内各點便局取扱いに
三月中の滿洲内各點便局取扱いに
三月中の滿洲内各點便局取扱いに

上海の現狀を理事會に報告

の被害頻々

人民の救護に當る事にな 上海に行き市街の復

【ロンドン十六日發】上海事代記

に響派することでなった『長春電

解論説を掛けてゐる

は共産無機関級は日本非確の念滅機む日常を求めてゐるものさ世際になめてゐるものさ世際

東支沿線の警備 ーを要地に配置 勞農紙誤解

K D 瓦



東西委員主 (根本) では、 大学 (大学) では、 できる (大学) では、 できる (大学) でき

陸路入滿

#約を通じ形成政府に服食中ださ が側の意向を繋頭でる意味から 動側の意向を繋頭でる意味から 動が側の意向を繋頭でる意味から 動きを が、調査敷さして一應支 リットン卿は

ナダバシフィック銀道會社長ハイ 歌語調査員随行員の一部であるカ アム氏書記長助手 ハイアム氏等

行は二十五名一人 ・一般リの満州活歌 ・一般リの満州活歌 犬養首 相の

のギャング

(製造直卸)





KO 西ケーラー式

























號三

四->地田、荒川(阿面-) 四山->大西、橘緑(小面 回面-)大西、橘绿(小面

沙阿

車輕傷者⇒參列

亡き戦友の冥福を祈る

淺妻大尉以下十二氏の追悼會

シア人までも燃香したので人目な一覧り合業して厚たのは参照者一同

ひいた

た、僻雪日式場たる二重機前殿場には便殿の設備を得はね下は特に御愛馬に沿されて親臨あらせられる旨仰せ出され下は特に御愛馬に沿されて親臨あらせられる旨仰せ出され来る二十四日軍人勅論下賜五十周年記念殿奥に際し天皇陛

地で三糎の永塚保険は三井、三製に二萬楓加入とてゐる、大連響記に二萬楓加入とてゐる、大連響記は一大連響記は

は今なは戦場の処き混雑を楽しなは戦機の家屋は高概シモコ、

火元と原因

るる

罹災者を呼出し取調

域は美濃町九十五番地から百一番

靖國神社行幸啓

明治以來の御事

大火の跳はさながら膨瘍の処き線であるが十七日 実験を表してあるが十七日 実験を表してあるが十七日 実験を表してものが明らた、取職への総果同人は野村悠広 た、取職への総果同人は野村悠広 た、取職への総果同人は野村悠広 た、取職への総果同人は野村悠広 たい 取職へのとできば明らた。境け出された三城十五戸の極寒者敷十名はれた三城十五戸の極寒者敷十名はれた三城十五戸の極寒者敷十名はれた三城十五戸の極寒者敷十名はれた三城十五戸の極寒者敷十名は

左官職田中菜太郎▲土木建築業中松寅市本局倉橋文松本立島雲本郷所有機工場▲野村標店職人で振瀬文本下宿業職兩領鹿野誠一地第次▲下宿業職兩領鹿野誠一地第次▲下宿業職所領鹿野誠一地の東京大小平定時人が呼ご吉本大タクトーア最近に

兩陛下お揃ひで

だ丸へ秋田部隊便乗) 二十一車で北上の途に耽く縁定である

三十分の三回に分れ、あいだ丸輪 三十分の三回に分れ、あいだ丸輪 が、第三大窓丸輪送都除は十八日

湿成の歌は今日十時より養養祭出した。 選成の歌は今日十時より養養祭出 慰靈祭 美濃町

兵曹長以下十三名の聯憲祭を職事において韓木塚縣祭主さなり豊徳 鐵兜型文鎮 兵隊さんに

入港船運る

いかぎり駆命さなつて夫

った つよは今までの 他和な

であるが、内のことは自川氏が全決心をなら十六日は天のひて七日

--

午前八時から上陸を開始し

で來連

二日に亘つて北行

ス緊留、午前九時上陸開

鈴木〇團の

一十六日夜來の張風は間に壁り南風 一十六日夜來の張風は間に壁り南風 一大大日夜來の張風は間に壁り南風 一大大日夜來の張風は間に壁り南風 一大大日夜來の張風は間に壁り南風 一大大日夜來の張風は間に壁り南風 一大田で水で見たのみでその他 一大田で水で見たのみでその他 一大田で水では 一大田で水では 一大田で水では 一大田で水では 一大田で水では 一大田で水では 一大田で水では 一大田で水で 一大田で水で 一大田で水で 一大田で水で 一大田で水で 一大田で水で 一大田で水で 一大田で水で 一大田で 一 シリース酸會提び間遇に船トリ 昨夜來の强風で

大 一クセン號は十六日午後十時頃推 当いてはその他の遊職事故につい 当かれてはその他の遊職事故につい ないさしたらルンペンか乞食が験で用されたか否かに就き腐保者を使用されたか否かに就き腐保者を

一室を貸臭した、これに優なすませるさ共につよに

するばかりであつた『奉天電話』

機であったので、 郷職な機であったので、 郷職な場であったので、 郷職な機であったので、 郷職な機

れてるた、その此を

であるが、内のこさは自地氏が全 脚ぐましい臓きをつらけてある。 と、大いに同情し凝のかはく問もな も大いに同情し凝のかはく問もな し、かち臓いてゐるつよに難し金サ くかち臓いてゐるつよに難し金サ くかち臓いてゐるつよに難し金サ はたつよはただく一凝を現て感謝を木

勅諭記念運動會

ログラ

ム決定

レモン

シトロン

サイダー

二十四日旅順運動場で

揚げた

十五番地森五郎氏宅ではスワミば十六日夜の美濃町の大火で同所七 いかさも見られてゐる 邦人の火事泥

罹災者十五戶數十

支那人一名逃げ遅れて燒死

四日正午から旅順運動 撃行する事こなつた財命 早記念医療軍合同大運動 早記念医療軍合同大運動 をするは左の如く決定した イーのの部 ムーのの米(海 で、中學、大學)三回同

小林町大火

三百廿六戶全燒

満鰻社員俱樂部員であることも生

の火事被害

戦トランクを持出しの戦鍵と見せ 他つて同家家駅中より楠トランク をつて同家家駅中より楠トランク の 直に容響に手配したがこれが本盤 かけて何れにか接去ったこと 焼明

回

剃の行路に

東京十六日餐】天皇、皇后殿陛下は二十七日午前十時御職で常媛御出門情園総社臨時大祭へ行業密あらせられる記職で常媛迎北大殿陛下御棚で青園総社へ行業密あらせられる記地の代後經えて興されなかつたここであるせられて後經えて興されなかつたここである。

憐な家庭に隱れた同情

図差と各五名宛(陸海軍、大中學校)
一次(陸海軍、大中學校)
一次(陸海軍、大中學校)
一次(陸海軍、大中學校體操
本
一次
「大中學校園」

り執政部において莊殿に懸行され

称郷甲郷素背氏全流行動氏の結婚

二格姬結婚式

念よあす舉行

日午後五時二十分より選東ホテル 前に市中側より代表的機匠二十四店の 市中側より代表的機匠二十四店の はり栗山電燈課長好谷係位 上の大変が開始が、東山駅長の技術あり

謝近火御見舞

目科門專

利五

謝近火御見舞

教

本幸

敏

花泌 柳尿

今日は執政脈は早朝から大繁代で

苦鬪する妻

明糖事件の 職職低樂器五月糖で大評様
老がの漫職就での機器、 が世に出る迄

式奥教子後十八日長春發育下大連執政令統二榕嶼は積成氏さの結婚

時過ぎ盛會裡に散會した

齒科醫院

料理講習會

謝近火御見舞

十九日來連滯在

約二週間同ホテルに後後するこ 九日老龍ケ瀧ヤマトホテルに技術へ新織の旅に上るが、大連には十

意 常 信 濃 町 市 場 領 場 町 市 場 領

逸香 口

マルボーロ

店商屋路攀

人造 豆

取調續行 めて概律再調査を行った ら織げられ當日参考人と六日登】明糖事件の取職 社長專務留置 場上等十六日景 | 派置車航空除九氏 | 「上海十六日景 | 派置車航空除九氏 | 大二二一一戦勝横 (権原秀見中尉 智 | 十六日轄十一時公大飛行が は沈勇にも数下級により飛ドリ無際落機艦な大破したが、機原中島 戰鬪機墜落 トルのト

野夏は一日金五十銭さら材料製造館 (後三時まで向ふ三日間糖磨町家事 で検送三時まで向ふ三日間糖磨町家事

松井商松井商

井商行

謝近火御見舞

入

石版商

組

合

儀執政に

解と正宗

数萬個の使途不明の金額 田(小小一小)田中、小岩永、西岡(小小一小) 左翼劇女優を留置

逾べたる後正宗一口を観れらた、因に學生職監代表者駐郡艦次郎氏は記者際に置き左の娘を勢明を登十六日來長した日本東京各大學々生校方會有志縣合會代表者は十七日午前十時生執政に顧講し祝賀を十六日來長した日本東京各大學々生校方會有志縣合會代表者は十七日午前十時生執政に顧講し祝賀を

東京各大學代表から

並に我等は益々日浦親善のため数力が載さんここを管ふ右撃明す『長春電話』が日本帝國の全青年を代表して入京したり、本日は執政閣下に拜謁の光樂に沿し級齢さ日本刀一邦大日本帝國の全青年を代表して入京したり、本日は執政閣下に拜謁の光樂に沿し級齢さ日本刀一我等はたゞ純真なる青年の立場に起ちて新潟洲國の建國を蔵すと同時に日浦親善の質をあぐべく友

我等は益々日滿親善

對抗リーグ戦に

(小面·胸)田中、森(小小一)木

大連支部優勝す

けふの春季劍道大會

面小)堀田、大久保(小山中)、柳(面面一)西岡

酮—酮)近摩、荒川 (小— 瀛村、游口(面面—)藤本 源村、游口(面面—)藤本

本社後提、整育堂主備のPA草葉

PA卓球大會

戦に移つた、各支部繋流りーグ戦 り午後一時より無戦者が戦者個人 を支部繋流の郵艦を握人

魔(-小小)田中、荒川(胴小-小-)岩永、海口(面面-)木村 九山(胴面-)瀬之口、橫峰(小

教師)未定(岩本輪番助動) 本願寺關東別院 十七日午後二・ 加に順係ありはせぬ にた部子の夫村山知義 には響きれた、 は響に検撃された、 は響に検撃された。

謝近火御見舞

信

連製水信濃町頭所

おが第一回戦の戦艦左の近と 天自日日 り並に訂正して置く 女の誤りであるここが判

回戰戰績

派信官吏 要語樂語是八三五中華最簡響於 東京樂語與五八三五中華最簡響於 謝近火御見舞 内地及植民地の巡査志願者は本會教 行の巡査養成講義録にて合格必勝せ られよいがキで申込穴等會朋及全國 東京集盟ニノ三五 東京集盟ニノ三五

東京女子齒科醫學學校部大臣指定。卒業者無試驗開業 總親代戚 總友代人

北西の風景後睛

三五九九九時午 岡岡零 最十 一〇〇三五 六 八二一四九低日

東他=小兒痳痺、遺尿症、肺結核婦人科疾患=開節炎、脊柱、カリエス 月經困難 月經困難 適應症 常盤小學校前小笠原診療院

常なツバメモのでは、 を表する。 をまする。 をまる。 をまする。 をまる。 をもる。 をも。 をもる。 を。 パメロ輪

電話七七七六番 三根眼科醫院 尾形醫

皮膚梅毒科——一般皮膚病等期梅毒 入院室完備--腎臓檢查、膀胱鏡檢查應需 **淋疾、下疳、横厥、睾丸炎、慢性淋疾**

縊死した青年 犯人は密輸 の身許判る 大タク販賣員

謝近火御見舞 謝近火御見舞 行 清凉飲料 最上の品質 最新の設備 最古の歴史

完全膣殺菌藥 セミスは世に

石川萬壽堂 ナニア楽局

明、 (中に持つてるた手紙に「高端」とあるは感音の驚邪で最高を取ってるた手紙に「高端のに持つてるた手紙に「高端のない。 はいっと (中に持つてるた手紙に「高いない。 (中に持つてるた手紙に「高いない。 (中に持つてるた手紙に「高いない。 (中に持つてるた手紙に「高いない。) はいる (中に持つてるた手紙に「高いない。) はいる (中に持つできる) はいる (中に対している) はいる (中に対しないる) はいる 十六日朝春日池

神道勇次耶 一道勇次耶 一道勇次耶 謝近火御見舞 乃 家 信頼さる

學學

社會式株酒麥鸃麒

殿さ、皺五郎が、死んだやう

最近驚地關係者への通信によれば その解釈の日を徐楽しつゝあるが その解釈の日を徐楽しつゝあるが

をようないでは、このを表するコンセルバードルー獨唱者さらてがは、この出談し得る資格がある得た。この出談し得る資格がある場で、この出談し得る資格がある。

後樂人最大の名譽たるコンセル

新棋

戰[共]

一昨年九月漸鏡社覧供樂部及び滿一巻滿洲を訪れた宮川美子螺も五月でありたるが、螺の声面目なる。 一時年九月漸鏡社覧供樂部及び滿一巻滿洲を訪れた宮川美子螺も五月でありたるが、螺の声面目なる。 一四日にはシャンセリモー螺曲の 中四日にはシャンセリモー螺曲の 中四日にはシャンセリモー 中四日にはシャンセリモー 中四日にはシャンセリモー 中四日にはシャンセリモー 中での大き、 一部で巴里に起き一部一の人だかり本便 マール・ロン夫人等と共に、メリー最 「中本の大き、 中本の大き、 中本の大き

▽が見の百円せき

▽肺腫のたんせき

▽咽頭カタルせき ▽キカンシのせき ▽ぜんそくの息切 ▽ぜんそくのせき

て、大聲に怒鳴った。

前側なき程の好評を壊し、翌日の代表で唱い、殆ど外園人さして

事が起ったからないである。 を 本本になり大師さんに連れられて春の前に熟山 を 本本になり大師さんに連れられて春の前に熟山 とた 本部の歌明」の正徳がハッキリ本師されるもので本識に、中野プロ を 本本になり大師さんに連れられて春の前に熟山 とた 本部の歌明」の正徳がハッキリ本師されて春の東遠で「滿地」の正徳がハッキリ本師されて春の東遠で「流域の最日を見なると入江東 を 本書になり大師されて春の前に熟山 を 本書になり大師されて春の前に熟山 を 本書になり大師されて春の前に熟山 を 本書になり大師されて春の前に熟山 を 本書になり大師されて春の前に熟山 を 本書になりた。 本書になり本師はない。 とのよの夕方、 を 本書になり大師されて春の前に熟山 を 本書になりた。 とのよの夕方、 を 本書になります。 とのよの夕方、 を 本書になりた。 とのよの夕方、 を 本書になりた。 とのよの夕方、 を 本書になりた。 とのよの夕方、 を 本書になり、中野プロ を 本書になり、中野プロ を 本書になり、中野プロ を 本書になり、中野プロ を 本書になり、 本書になり、 本書になります。 とのなります。 とのなりま

学大なる成亦を護へた、そして今 神代なる成亦を護へた、そして今 神代なる成亦を護へた、そして今

漢天下待望の名篇遂に公開の時上海事變を背景に海國男兒の母正に支那問題○○問題解決の

一茶る描く

症應適

水アタリ・暑氣アタリ

主、その時間に、突き盤つた船 は、もうぐツミ舳を繋じて、四、 はつさ、それに氣附いた主殿。

駅は眩しさうにそれた見ながら、 に、うツすらさ、白く描かれて あるとり龍の終――白機野がチラ ツさ現れた。

られてゐる松狂児、小宮一晃の融 一見高枝さ其歌して「宮

「ABC」の二寸機な管液するこ

白粉彫(五)

き通るやうなお蓮の雪の肌・動五 か脱がせ始めた。 一ないながせ始めた。

が、挨拶は十七日素を殴りで、 ・ 検婆をなら、ファンの検評を擦し ・ 検婆をなら、ファンの検評を擦し

十銭である

ぜんそく

巴里から歸朝の

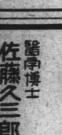
荻野綾子孃來連

五月上旬協和會館で

最初の獨唱會を開催

即さお蓮のだな、氣急はしく見な

『古賀斯塚』映書會 三の春枝季者は僧上五十日 関下三十日に割引します



一店ニアリ

洗いが好きなら八分目 濃いが好きなら八分目

13

いてで飲む味は

たつ、其七分の一に 玻璃のコップ

71

ルピス

3

林大藥房









愈よ今夜限り、大日活

『古賀聯隊』映畵會

主催

滿洲日報



不安か

ら喜



永井女史は

軍隊慰問

たが、チラくくさ解電の光の見 がは、チラくくさ解電の光の見 がは、チラくくさ解電の光の見 美しい野館な様乎さ見下してるたれ、 たん かんだま、 流れれ おりに 解れれんだま、 流れ

MORE MAINTING ASSESSMENT ASSESSME	
杉、小宮が ・大三素連らた中野英治一径の新 ・大三素連らた中野英治一径の新 ・大田活にて 大田活にて	だは、チラくご解電の光の見えが概念の方へ、矢のやうに飛ん て行く。 で行く。 で行く。 で行く。 で行く。 で行く。 で人態のやうに離れたま、濡れて人態のやうに離れたま、濡れて人態のやうにがほく光るお蓮の
いましに流洲國各地に放て振唱の外出しに流洲國各地に放て振唱のため四月科來滿心安東を接てソブラノの研究に赴いた凝野網では五月一日の像は五月勝順の途滿洲に立寄りこれが長春を振り出しに新藤駅の途滿洲に立寄り	第二年 18 1年 19 1年
腰々である。 腰々である。 か、四六金打に必勝 本に出策四六金打でがいれて、四六金打に必勝 をは出策四六金打でがいれて、四六金打に必勝 をは出策四六金が行いれて、四 が、四六金打である。	4 4 4 4 4 4
理修·調新	の子菓御

早典科醫院



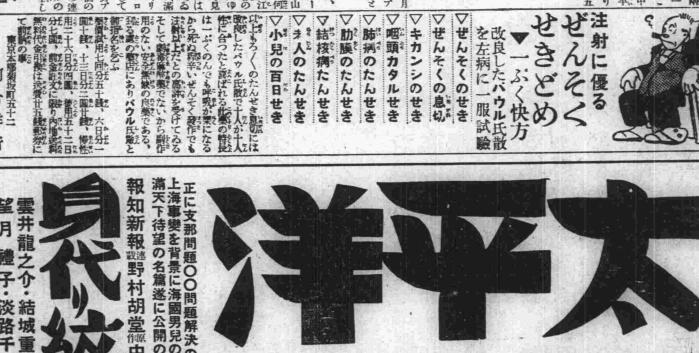




を 五十八日より 発送します

者は特に内地より呼び寄せる等でならつ、あった天野安山・職のでといりトミックの歌門研究をなしているので、まりの歌門研究をなる等である。





宮小·子玲原水·質問草·治英野中 品作督監·太良浪川·峰明原笠小·作原下閣生長原笠小將中軍海





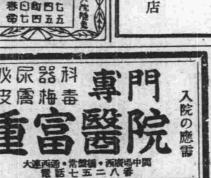
世話六五四四番

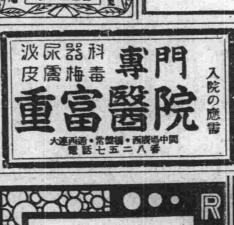
小

倉厚司

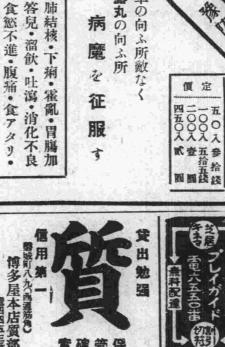
豨











子江太光明の 子江太光明の 子江太光明の 大大久明明本記者が 大大久明明本記者が 大大久明明本記者が 大大久。 四東軍者が編立。 大大久。 四東軍者が編立。 大大久。 四東軍者が編立。 大大久。 四田間、南本 を解する。 を解する。 でので、 のので、 のので

理チャップリンの 原と数笑の哲人が飲く泣き笑ひ の人生觀・イド主演の大喜活劇 の人生觀・イド主演の大喜活劇 の人生觀・イド主演の大喜活劇

老

征

服

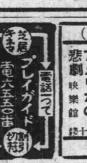
皇軍の向ふ所敵なく





價 定

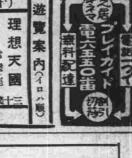






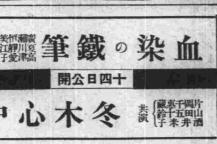
國





軍隊最選秘藥

御家庭常備藥



農 0



ロイドの大進軍
弱虫ロイドが泣き泣き大手柄・モンテイ・バンクスの大爆笑篇

テイ空の大統領 東内線至急大募集 十五才より二十才迄の女子●

育婦中●常盤座

薬品は、治療の第一線に立つものである。 從つて其品質精良にして、效力確實なること を絶對に必要とします。

我三共の藥品は現代科學の到達し得る限り の知識を技術と更に誠實さを盡して製造さる しもので、いづれも其純正を誇り得るもので ありますの

我三共の薬品は、其數既に數百を算し、凡 て深遠なる學理經驗の数ふるところに立脚し たる責任製品で從て效果頗る的確であります

東京日本機室町 三共株式 會社

簡單に三共の藥品を説明せる「三共と その藥品」(薬品價格附)と題せる冊子かり。 御希望の各位には此新聞名記入御申込





ヴイタミンBの世界的始組

オリザニンは、農學博士 鈴木梅太郎氏 の發見に係り、本邦學界に於ける ヴィ タミンBの標準品たるの權威を有す.....

- 1. 各型脚氣及び乳兒脚氣
- 2. 人工榮養兒の榮養障碍
- 3. 人乳中毒症
- 4. 惡阻並に妊婦便秘
- 5. 重病經過中に來る脚氣樣疾患 並に榮養障碍及其浮腫症狀、 ヴィタミンB飲乏に因する神

推跳せらる

包警 液、末、能、越援斯、注射液各種

タカチアスターセ

消化不良に因する總での胃腸疾患、並に消化の催進 によって栄養を増進せしむな要ある凡ての場合に應 用し比類なき卓效あるを認めらる。タカチアスター ゼは單なる澱粉消化酵素に非ずして實に蛋白、脂肪 其他多種多様の消化酵素を含有するものなり。

(説明書進星) 粉末、錠劑、强壯酒等あり。

飲み易い肝油

三共肝乳(特許)

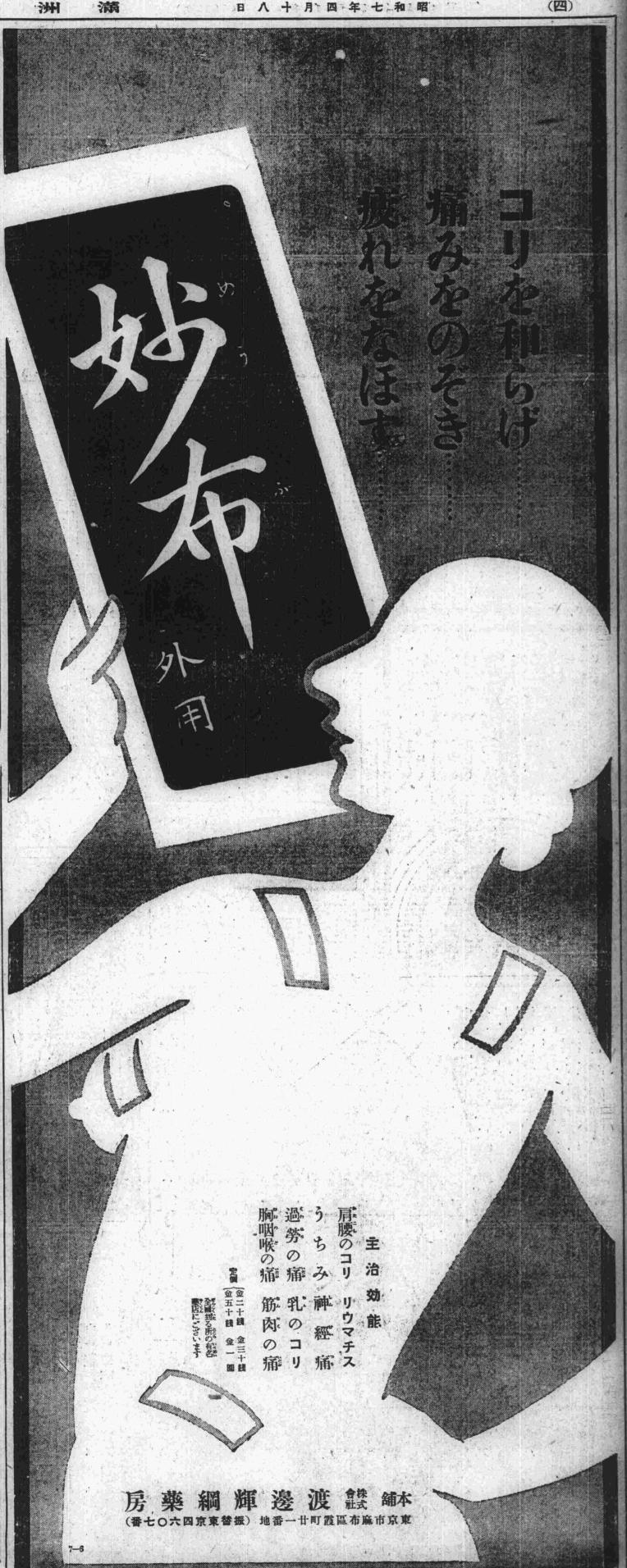
虚弱兒に對する無二の强壯劑

水、温湯と牛乳様に均等に混和し佳快なる芳 香と酸味を有し、不快なる肝油の臭味を有せず 故に肝油嫌惡者も容易に服用し得る特色あり 包装 250瓦 500瓦 (說明書進星)

鎖 陂 祛 痰 新 薬 プロチン

呼吸器病にして咳嗽咯痰を伴ふ凡ての場合に 賞用せらる。作用緩和絕對無害性にして老人、 幼兒にも安んじて用ひ得られ好評嘖々たう。

包装 液、末、錠各種 (說明書進呈) 大連市山縣通一八一 賣 所



比律賓の獨立と

その經濟的背景

米大統領の裁可疑問

報告內容

長岡大使歸任

便衣隊指揮官

第名が連伸されたに鑑み、我談兵 が名が連伸されたに鑑み、我談兵

新官八萬七子九百ドル、その他示 (銀五百萬卵を下らぬ機様である又事性邦人損害の調査を行ったが想) これ等か合せたら邦人の損禁は想去を十日までの申告に使って上海。 みで横雲百萬弗に連するものありま・ 一工場の 調查團口依然陸路

千萬國主施定されて 正業者の受けた間接近 であれてあ

戴天仇引退

し一蘇州へ所る第十師の兵卒を務して

人損害

下谷役就を決定し全國勢農大衆監察した結果、書記を計山智氏以際に十六日午後二時中央結代委員

社會黨に合流 赤松一派國民

中國共産黨へ 露國の補助金

を條例さら合説な職者に決定した。 本主義、単なる歌楽館に非さる事、反査 の表にある。 を終例さら合説な職者の表にある。 を終例される歌楽館に非さる事。 で養し、

まで年載七百萬元であつたが

園公に報告 松岡洋右氏

錦州視察を重要視~

へを主張

一時四十八分一トの通貨を流動せらめてゐる 産業はその占據地に中國ソウト萬元を受けてゐる、なほ中

洋石氏は十六日午後二時四十八分学者に努めて師宜らた代議士機関の内職的

一厘

程度の利下

結局妥當の處置

金融界前途緩慢の兆

満洲國の實體を

調查團漸~認識

顧の入滿拒絕から

東州、窯樹の谷軍及び睡眠動部長會 第一會誘窓で除食され、辣椒、闢 第一會誘窓で除食され、辣椒、闢 東州、窯樹の谷軍及び睡眠動部 長越上荒木陸様、小磯大官以下園 羅南部隊

獸醫部長會議

月中旬には質値でる方針であるが 獨大統領の訓令

邦人紡績の操業

停戦協定成立後か

11 【ペルリン十六日登】大統領はクレーナー内根に點と契和點その他を開発をの膨胀を入しての同窓家庭のが謎をいる立場に存りて各職に計造を不会に関して、この同窓家庭のが謎をはある立場に存りて各職に割ら契和點をの他が送るで、

下の金融界財 さなればこれ又事体数の支機に保 なりし標花そのでかつは金融界を指導する意味 で一般程度の利子引下は確めて安 での変量さされてゐる

政友の兩氏

高橋藏相訪問

一部來滿

東京十六日登 田剛氏は十六日午前高衛戦性を歴 ・ 東京十六日子前高衛戦性を歴 ・ 東京・ 東京・ 大日午前高衛戦性を歴 ・ 東京・ 大日午前高衛戦性を歴 ・ 大保・ 地方金融統中不動配の資金化に ・ 大保・ 地方金融統・ 工画家保険の ・ 大保・ 地方金融統・ 工画家保険の

解校以下○○○名感激さるる事で 「原城十六日登』軍司令部登表、 『京城十六日登』軍司令部登表、

たり十八日午後二時三十二分補洲 橋本新參謀長

十八日東京發

鄭州に戒嚴令 低する事に決定した、前参談長三県京十六日登』新聞東軍参談長



らかなしみの。を らかなしみの。を を は、 のないでは、 のないでは、 のないでは、 のないでは、 のででは、 のでででは、 のでででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 ので 死s凱旋

とんな器が突されるか、 影で掛かれた 松間を 選小説 美容院の人々質知識

婦 讃 本 佐藤春夫

別

貝その他貴女方の幸福と力を育 酸物満載。強く朗らかに生きん

の心にはつきりざ 多き酣の春の讀物、特輯讀者慰安さわけよ、つよくずなほに!! 魅 魔の羽音をは

聯盟當局、

飲き、突然敬行を勧めたが、支那はこれが受読を確つて居る、然と総局**聯盟の勧告に應するを得ない**ものと即られてゐる午後五時支那代表觀些麼を探致して支那が內政上の理由から上海の日支直接交渉を避くるは不可なる旨を調査委覧の報告を待ち委覧会では之に襲れないと関られて居るが、事務總長ドラモンド氏、整護委員會議長イーマンス氏は夫々十六日調査委覧の報告を待ち委員会では之に襲れないと関られて居るが、事務總長ドラモンド氏、整護委員會議長イーマンス氏は夫々十六日間の記述、ジュネーゲ十六日費」經濟委員會は來週中一應形式的に開き、經過報告後成行を觀望する機構、又滿洲問題は「ジュネーゲ十六日費」經濟委員會は來週中一應形式的に開き、經過報告後成行を觀望する機構、又滿洲問題は「ジュネーゲ十六日費」經濟委員會は來週中一應形式的に開き、經過報告後成行を觀望する機構、又滿洲問題は 撤收時期確定の大 日支交渉繼續を 長岡代表外務本省に請訓 江不可

て七時四十五分齢表し、佐藤大使以下で協議の後本省に縁訛したり、これに罫し長隣代表は日本さして受職し得べき怪質のものな 安員會草案に内諾 「新い長岡代表は日本さらて受謝し得べき性質のものなる旨を答べ、低ら本國政府と打合せの上回答するで続い「新い長岡代表は日本さらて受謝し得べき性質のものなる旨を答べ、低ら本國政府と打合せの上回答するで続い 平常狀態が回復されたと意見の一致を見た場合に直に徹兵を行ふこさいする親につき説明を受極家、即ち日本軍の膨退時期に關しては期日確定の方法を執らす現地における混合委員會の認定によって國家、即ち日本軍の膨退時期に関しては期日確定の方法を執らす現地における混合委員會の認定によって 長岡我代表意見を語る

「「有名なる婦人無道師モードロイ・ドン嬢、プレス・ピテリアン教會

正規兵便衣除逮捕

【北平十七日後】顕維釣入浦問題

東朝の社説ご

過級來平和軍な組織して上級の日 取識べ中であるが、羅に逮捕した、 滿洲國融介石の名で題維約の委等のイギリスにおける平和運動は 人な交もや逮捕して部局に引渡し 國人に難し左の姫く述べてゐる。
 (本) 「大・グレーシリ氏」「銀事館裏門附近な綵伽する経支那 の社談は職監測を委託一谷の滿洲物師ハーヴアード・グレーシリ氏」「銀事館裏門附近な綵伽する経支那 の社談は職監測を委託一谷の滿洲物師、アレス・ピテリアン教会 【上海十七日發】十六日午後二時 【東京十七日發】本日の東京親日下ン嬢、アレス・ピテリアン教会 【上海十七日發】十六日午後二時

極東、軍縮兩問題の意見交換

事件を議題に 加國委員會開

調本

員退滿後か

犬養首相も慰留せず

多数の中央軍務校を逮捕した。の本部を襲び同軍に加援してる

總裁の更迭

にあるので国 郷食鼠逐浦後 更送管理の様様であり国際上版 る極様で大き首様と監督するには能態調査以 満後静低を選行すずく決意してる は能態調査以 満後静低を選行すずく決意してる

十一時十五分(滿洲時間午後六時十五分) イーマンス 議長司會の下に 非公開-六日發』支那の要請に依り緊急開催に決定した 十九個國委員會は 日支兩國代 停戦會議には不關與か

せるところによると含味は你吸含物が鬱酸中でりると、ではます。 という おお まで 一大 おお と なが できない で 日本 代表部 より提出せる 上海租界における 支那暴民の日本人傷害事件 真相を説明し次いて日本代表部より提出せる上海租界における支那暴民の日本人傷害事件の 『シュネーダ十六日教』 十九階級委員等非公際会議においてイーマンス議長は前回の會議以來の上海における事件の『シュネーダ十六日教』 十九階級委員等非公際会議においてイーマンス議長は前回の會議以來の上海における事件の『シュネーダ十六日教』 十九階級委員等非公際会議においてイーマンス議長は前回の會議以來の上海における事件の『シュネーダ十六日教』 十九階級委員等非公際会議においてイーマンス議長は前回の會議以來の上海における事件の るさのこさである、しかして討論は全然上海事代のみに限られてゐる

日本 『ジュネーゲ十六日教』十九個國委員會與了ること、なつた 際セナイーマンス議長が日支限関係表と會議すること、なつた 留す。

「日本の軍事上編要なる地域は之を保ってゐる
「中本と院が解釈を覚及ビンガム氏に送」ツビン糖・無視輪及で職つてゐる
「日林墳を設けてアメリカ陸海軍」を上院が解釈を覚及ビンガム氏に送」ツビン糖・無視輪及で職つてゐる西

を主機さして名成製を持むり歌歌 まつて一大移民會社談立の運びに 至るものさ期待されてゐる、しか

東京動衆公司の新農場たる東山農

東山農場耕作

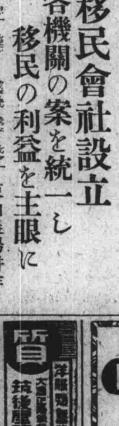












後二時職會一概さ戦修委は會な關さ全國大衆監監を脱らた一総松、小心、馬島氏等十五名の郷監を脱らた、十五委員に指

原一関する動会改正案作成中だが、 検及を奏任徐邁こする職員徐邁。

烟立委員會

奏任待遇

五月中旬實施

★三十男・四十男・五十男の心理

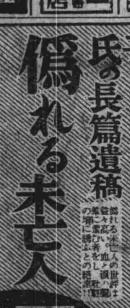
赤松氏一派の準備











定價 五十美



大きにはドイツのヒッ

五日対線入港のあむうる地にて本語を開始を開始を開始して本語を開始、常岡の庄・中一歩を印した。

現在及將來

ドイツの場合は、ペルサイユ像 さものであるが、意味に当州ル舞臺さするも は、支那様に清洲ル舞臺さするも

これはファッショを最も戦場に見た記事だ、監秘にいふた難り、 程にの立場をはファッショさ呼ばず、総線主義と呼ぶものである、

野報の如く満洲泉樹輸出総合臨時一苦散會した

日鷺城下の健良

評議員會

果樹組合臨時

ファッショの

私はファッショさいふ言葉をは、のすべてた見渡して、総小院り親はファッショさいふ言葉をは、切にその本質的存在と見るべきも言葉が現在の日本及び世界の取りを登り、ももくは養成させて見なべき最も必要なる政治物態であ やう。

へあ、しかしこ、では、フーの現在及び粉楽をそれに

ショの一特徴はナショナ

日本での間に一般駅の安配がない日本の観土は過水であり、日本の観土は過水である、そしてこの事態が衰脱されざる機り、日まのチショナリズムは發風を搬け、日まります。

カー・ルベば、それはファッショの名を明かならず、アメリカにも、その他のおる感に安好、要差するであらう中能階級が今日ファッショの背景が、

各國々歌を奏するオリムピックバ

ンド、「ロスアンセ

場の中央を會長席さら日浦國族を一聴會監日は耐嶽に日浦爾國族を取代あるが、アーチを含場入日に二一种ならしむるため機整備の取付等により大龍さなつて急い、ツクの地脈らし、観技の遊行を便能報日浦親養職合大運動會の誰談。要り鑑し裁箋艦の小屋掛け、トラ

ド・ロバート君智を續けてゐる、窓具は練智中の南カリフォ智を續けてゐる、窓具は練智中の南カリフォ

清聴合委員會を提覧と目清人相集 日清観報の質な野げんと記載し日・ 日清観報の質な野げんと記載し日・ 日清観報の質な野げんと記載し日・

墺國の負債支地

三ケ月間延

期發表

ろあつたが、この程その作成か終

日滿親善運動會

諸準備着々進捗す

属を大々院に記念すべく適日より

日滿大運動會開催

八の兩日

會長には臧民政總長

密輸取締方を

H

る皇軍搭乘列車の観響ならびに最一一味の仕業であることおよび犯人一大明かとなりつゝある機構なので更二鍵機爆峻計避、成高子におけ一載が戦職への進むにつれて共憲監。と残明し彼等一味の連続系統も観《ハルピン特體十八日聲》 機花法 一選を遂に終った敷他の卵車籐敷部 がいづれもロシャ人であることな

内幕漸やく判明す

勞農當局に狼狽

の毎

職をするに同意し極力事物に関係 とて満州政府に對し報道完備の際 をするに同意し極力事物に関係 嘎呀河に

五日午前十時四流戦闘格道上村北 五日午前十時四流戦闘格道上村北 が護呼河東三里の地監に百五十名 が護呼河東三里の地監に百五十名 合物とト五日未明は和龍縣峰流流の一個農特館十五日餐」落合〇脈さ 十一時機械光備隊の一部隊百草満十一時機械光備隊の一部隊百草満 間島派遣隊 各地に轉戦 今二十三畿の都い五大學生が自然 した記事は、そのみでなく多く の職者の心を動かしたこと、思 かまで、學校の成績が挑戦でな いために近く演録のがから學費 いために近く演録のがから學費 で、社會問題さしても決意すべ で、社會問題さしても決意すべ

る。しかし如何に有意義な態度 を当い有質な常年を養成してく をしい有質な常年を養成してく れるここは臓に感謝すべきであ れるここは臓に感謝すべきであ

に振る二道溝襲撃の大馬軍を衝い てこれな撃破し更に全滅を期して でこれな撃破し更に全滅を期して

一二本及び銃器を押取るた

吉林軍の一部 反吉軍に合流

成立と学うどて喰ひ止めてゐる配の吉林軍は反吉軍さの係戦安協 歸還部 郷物縣に乗し込の上會然と張歩へ 松市民の参加を希望すると、商會 に ボクラの邦人

は十六日室殿下り次第連郷田野 一在台邦人百餘名は窓に引揚に決定 一な台邦人百餘名は窓に引揚に決定 国を開始するで【奉天教】 全部引揚げ

電機存譲減子の吉松軍は反占軍に 部機存譲減子の吉松軍は反占軍に

一大統領が考慮中の五日悪間線の一大統領が考慮中の五日悪間線の

展長、融會長に學教子篇の磁等學校、

本年度體育大會開催に関す

展子識樂職の奏樂で献録をつける こと、なつてゐるので、 然日は長 いましたのであらう 【長春電話】

教育的見地に基き學校體育を研 盟設立協議會

さを知つて国 つに度 時に打掛られパンドは懸然に奏で し、送られる野士の配上には繁擬 し、送られる野士の配上には繁擬 に動きが感燃と現れる、かくて能か に動きなめが感燃と現れる。かくて能か のである、やがて養車のペルが鳴いたでは振られパンドは概念に奏ではまる萬歳の監は天に も神さんばかりで大脈、小熊は一 何れも離からい管途を脱融する。との意義の難、大解、小族の窓

満銭貸費制度

なのは無理もないさころであるなのは無理もないさころである。したがつて卒業後、本が規続されるごさを期待してのはかりとのはかりとのは無理を対象に優しないさころであるなのは無理もないさころである。

できる祭山されることはなからうながかれの學生々活の全部だ。もない、たち監察だけばごうでもよい、たち監察だけがかれの學生々活の全部だ。もながかれの學生々活の全部だ。もない。

入社できれば、滿磯の能迎生が たにしても、若し卒業後滿綴に たにしても、若し卒業後滿綴に

ドの吹奏に合璧して軍鉄・フメは職ホームと続き

も之に和し、時折り

族の波、

さ常識の完成に はければ軽採用

日週制案

米大統領の五

大速、大速、燃口よりの整幅は新 なってゐるので關東歐壁物管局は 十四管内の各管系器に繋し殿東政 が大心差がした 達示

民学生の小からされ 報とは ・学生の小からされ 報とは ・学生の小からされ 報とは ・学生の小からされ 報とは ・学生の小からされ 報とは

特大連奏の國時列車で出鉄した。 中大連奏の國時列車で出鉄した。 で低地に向け出数 お無理ながいた。 をは、 はの数者を報せればならか▲國士 他高等接触学校学教生六十名、十 在日ブラジルに配った、ブラジル 日本新郷の作品たる人選▲部分長 明治観宮にお祭りしたのもだしの別れであるから、宮城を拝しの別れであるから、宮城を拝し 地土産で

驛頭に揚る感激の萬蔵

列車

畿の騒が相呼騰しつい一路北上が切れさらな世紀の感報に避れただ 訂縮

二大四 十銭(八十二段) 四百廿餘

器二〇四^八京東替振 社 造 改 木木成頭本他的原西西台條用治早野野 部森 西野中野村薫竹 原西田部 生野 海山村村 仁缺 永太 榮 八 濱鶴 編纂 今 文 田 宇宙衛島 太二 夏 羽 吉一 賈 治 愛 香隆 十武 一 太太 兵道永 茂隆武朝 知 太陽 正 医大海岛 太

學道如造郵館喬如與吾片樂治維大男治广之壯襲助吉裔德治光人彥一郎實治遠維郎一夫要師即即即

8

〒6085街 122660 □

鑵 言う

名物で及び原籍

2











H

失つて火船にむせかへり、危ふくかる火の中に飛び込み、逃げ揚を

る中

番地を中心さし電話、杭木屋、菓子屋等の木選家屋が密集した場所まで、一次では高州に早く週つたもけた消防本署始め水湖子、沙神口各消防器必死の勢力によつて流石に四隣を一無になめ盡くさんさし打消防本署始め水湖子、沙神口各消防器必死の勢力によつて流石に四隣を一無になめ盡くさんさし打消防本署始め水湖子、沙神口各消防器必死の勢力によつて流石に四隣を一無になめ盡くさんさし打消防・署始め水湖子、沙神口各消防器必死の勢力によつて流石に四隣を一無になめ盡くさんさし打っている。 である。智の口であつた為め、すは火事とばかり騙けつける群衆は敷を知らず非常な大渉艦を禁じれる。智の口であった為め、すは火事とばかり騙けつける群衆は敷を知らず非常な大渉艦を呈しが記の美参町交番の如きは火の粉を受けて一時他に移転すべき程の騒ぎであつた。 景火場所についてで近の美参町交番の如きは火の粉を受けて一時他に移転すべき程の騒ぎであつた。 景火場所についてで近の美参町交番の如きは次のかを受けて一時他に移転すべき程の騒ぎであった。 景火場所についてである。智の口であった為め、すば火事とはか、大渉艦を呈しが明ませず大連署では現場される。

時間が時間、それに場所が場所、

られてゐる

中學愛國號

來月五日命名式舉行

吉原飛行士

ニューヨーク着

火災ではいる。

猛火中に活躍 大連商業生徒

原因その他取調べ中

全く着のみ着の儘 文字通り哀 な罹災者

消火栓が 猛火の下 原因は失火か 今井署長談 式を繋行の鎌定である 東京十七日發置全國中學生安學 迎へ盛大に繋行した 東に観報されるが大陸五月五日頃 一二 ユーョー で本、根兵場で中學愛國號で除る 二 ユーョー 二 ユーョー 二 ユーョー 二 ユーョー 二 ユーョー 二 ユーョー

命名式

朝鮮愛國號の

月二十二日午前十時より大連運航 大学にした、本年度は特に一般婦人 の参加ル勘線に力を注ぐこさ、な の参加ル勘線に力を注ぐこさ、な の参加ル勘線に力を注ぐこさ、な も り叉谷女學校でもそれんと新らし 舞出すこさ、なつむ 大変した、本年度は特に一般婦人 一會計製の五月祭の 新のながであるが特に 一巻表する第

に関しては追ってた又一般婦人の

號でイギリスより管地に到着

鈴木混成

團解散

けさチチ

にて學式

幼女を救出

少年法發布記念

在奉天各學校の 陣容整ひ猛練習 『チチハル十七日發』或前○際に 機師すること、なつた鈴木造成〇 で、これにて鈴木造成〇 で、これにて鈴木造成〇 で、これにて鈴木造成〇 で、これにて鈴木造成〇 で、これにて鈴木造成〇 で、これにて鈴木造成〇 で、これにて鈴木造成〇 で、これにて鈴木造成〇 で、これにて鈴木造成〇 天野〇團チチ ハル到着

一個にて昨年の世版に鑑み老際野田 である、なほその競技権目と職場でして会社の かため本年度優勝校は呼ばに離する中全く計り織く単生産上競技ファンの血は赤きかへり徐黙されて である、なほその競技権目と戦闘の 『チチハル十六日登』鈴木○開さ 一覧を部、潤本○除本部、野破○除 一覧を部、潤本○除本部、野破○除 一覧を記、潤本○除本部、野破○除 一覧を記して現々深極 こことにより東支線にて現々深極 こことによります。 際の整盤祭を解散式後引動さん受変にもめげさる無誠なる邦人の歌が出り風及を強ぜさる難聴する邦人の歌がには事事が高した、明日鈴木〇

滿洲學生陸上競技

かって が電信電話線な が電信電話線な が電信電話線な 柳條満伸近におい 柳條 電線泥坑 海附近の るべく熟議中である 【長春電話』 を終わなし以て目解の質識をはか 5つで、之等分配したる部隊の大ため、いざ事を舉げんさいふ時に 松部隊は現在諸所に分散してゐるか、これは王德 農安附近に

二百三十二回、左が百八十五回 時間に宿の方へ目を向けたのが 時間に宿の方へ目を向けたのが

なやったそうだ。

を大敵成出級以近職協市(200兩人 は三年前から脚窓さなり幾度さな は三年前から脚窓さなり幾度さな 動もついありで『長春電話』 が徐騰してあるさ、問題王の報

大は塚副地勝を送つたのみで大性となると、エし本年の再勝を助してゐると、エし本年の再勝を助してゐると、エ

るる。なじ。 一 本競技種目 百米、四百米、千五 百米 五千米、百十米障害、八 百米 電洗、走市跳、棒 市米、五千米、百十米障害、八

中、高木を整へ配も二、三の電影山 はった後観覧の感はあるが要素が が、高木を整へ配も二、三の電影山 とたが、谷學校では早くも優勝を が、名學校では早くも優勝を から経天園際 が、名學校では早くも優勝を から経天園際 が、名學校では早くも優勝を から経天園際 が、名學校では早くも優勝を からが、第一年の のでは、一年の のでは、一年の

希望の長春に

男女の心中

女(藝妓)は途に

『宮崎十六日登』宮崎縣小桝町観 年後一時中までに五百餘戸を燃失り 日下町に延焼中である 小林町工 客に無を起させよう

大は臨前も黙を送つたのみで大徳: 本年の優勝校は同校にありはせい。 新地粉の総献金ときを得して工力 との、、新地粉の総献金ときを得して工力 との、、新地粉の総献金ときを得して工力 との、、新地粉の総献金ときを得して工力 との、、新地粉の総献金ときを得して工力 との、、新地粉の総献金ときを得して工力 との、、新地粉の総献金ときを得して工力 との、、新地粉の総献金ときを得して工力 との、、新地粉の総献金ときを得して工力 という。 2000 第一年の優勝校は同校にありはせい で、一貫の一大様の関係を持ち、かれてゐる時、四日で、一般からな歌にはいて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、この者に関いて出たはかなか、常、こから、これに関係を持つに至った。これに対し、一般の場を送れていった。これに対し、一般の場を送れていったと称。これに対し、一般の場を送れていったと称。これに対し、一般の場を送れている。

さ飲み明かし、十六日朝

宮崎縣の

さか同十一

かさ一般から機様されてゐる程でから一般から機様されてゐる程で

に至る時間は鬱闇から五十分後

は各通りさも黙山を築いたがこのは各通りさも黙山を築いたがこの 郷香の中でうれしいのは大連商業 の生徒が學友のうちの命跡を蹴力 質紙を選び在議中の好意を謝す のごこき監報を許せた 一 相撲講演ご

整まで安全な場所に持ち出す事が 出来た、この健けな學生連の活躍、 ぶりは徹時製物防心を郷軍人感、 でた意味で機識の的さなつてるため、 のある流鏡場形モルギン氏が撃身 のある流鏡場形モルギン氏が撃身 のある流鏡場形を立て深い關係。 様まで安全なもりという。 タは十六日夜七時より總和倉館に本社当催相撲輸派と自懸術党派の 自彊術のタ

本年の五月祭り

盛大二開催

五月二

日滿女生徒の 十二日大連運動場

素人角力等島さお 機の総談をしたの 氏が縦三十分に取

て八時生熱了もたて八時生熱了もた

不許可

かっ

無機に大連丸に野臓され大神(大連丸に野臓とり)「本総に液源のからりが、 一年後一時暗郷とりは酸に敷助の が付大連丸を現場に敷助の が開きた連丸を現場に敷助の が開きた。 が開きた。 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 できるが、 できなが、 できるが、 できるが、 できるが、 できるが、 できるが、 できるが、 できるが、 できるが、 できなが、 で

泰順號曳航

學校各種虎の卷目錄 8 本名 界各國 東京風菓子護製 ら落昆煎に 酒類 童 食 000

曼特新盛多智久松商店 謝類燒御見舞 光烟器 門院 SALE STATE OF STATE O 供 服 院胎の金太郎もあ 地 唯一の噴霧式粉乳 KINTARO TEH.

がライオンで変 然と飲むだけで 電四八二二

席

高 電話三人五六番

4 多洋··· 人雑貨専心店



各種參考書出版

振替太阪一〇三五番

駸

A

堂

さする粉熱にあるので監局では之を可視と萬一層派別々に出順した 以來兩派繁立メーデーが部班撃スローガンの事か は心許可にする方針である 坐佛盗まる 博物館 事光寺の露 【東京

謝近火御見舞 德歌 i 向 末 常 吉

カーセント、話を注こするサービスが二十五パーセント、話を注こするサービスが二十五パー やけようさ勢力してゐるかと強い を載きつけようさ勢力するのが が十五パーセント、女給がお客 が十五パーセント、女給がお客 が出るのがおりお客に自分を報じかのが に話をしたがりお客に自分を報じかのが のがあきつけようさ勢力するのが を載きつけようさ勢力するのが を動きつけようさ勢力するのが のがお客 コの 八子

各種荷流行の眼

側北省の激震 麻城縣一帯の家屋は殆ご倒壞 死傷十數萬に上 王德林

川の大火信濃町電車通り西側から

を製に役事と得ること A なつたの紙と 合成能物の職機成り 好んじて 地中の戦機の 日本十三名はこのほど

倉の五十名 長春避難鮮人 原地に歸る

馬賊死刑執行

たない。 をは、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 できる。 できる。

駅公署に於て具際的協議を含した 學校長さ十五日午後二時から安東 鎮江山出店決定す

を表式の出来る機能してあるので感気を を表式の出来る機能してあるので感気を を表式の出来る機能してあるので感気を を表式の出来る機能してあるので感気を を表式の出来る機能してあるので感気を を表するが、臓臓型は衝散する を表式の出来る機能してあるので感気を を表するが、臓臓型は衝散する。 工の上は一般に喜ばれるであらう

千山臺西に 匪賊團來襲 ないまでは、十六日午前八時末上記法 へ大変を強い、十六日午前八時末上記法 へ大変を 大子後五時頭射輻揚井戸に 繋びかった 一 歌兵分遣隊の吉村伊足及び戦山野神戸に 繋びまなった 本社へ戦争を発えるを 大谷みに行き井戸中に外陸あるを 大谷みに行き井戸中に外陸あるを 大谷のに行き井戸中に外陸あるを 大谷のに行き井戸中に外陸あるを 大谷のでは 大谷のは 大谷のでは 大谷 自殺ご判

後十五日な物が、死人は推定二十二、三部の を開致したが、死人は推定二十二、三部の を開致したが、死人は推定二十二、三部の したが、死人は推定二十二、三部の したが、死人は推定二十二、三部の を開発したが、死人は推定二十二、三部の を開始したが、死人は推定二十二、三部の を開始したが、死人は一部の を開始したが、死人が、一部の を開始したが、一部の を用かり、一部の を用かり、一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一

一 一 一 一 十 九 分 着 題

子蘭天湖震襲のため光年来土地及一家緑百三十戸の移轍に就ては古城、 匪賊紅勝の

その再起の見込なし

日本帝國施療班 今年 も活動

十五日より一ケ月間

日滿大運動會

大石

小泉雪子來る

△金井草次氏 十 バンを一日にのみほして、「結婚と

一「壁い紋束と云ふことを数すすることに致しる

品質 香氣 谷姿の美麗 (州四三十五艘 の高尚 0) 0 す 優良 低廉 いらん

に合紹費消及店舗・店品化物間小・店買離名者の所る到

醫學博士

二一町狭若市連大(前院医男岩)

しをは

は行かなかつた。もし財三さ結 から 連 JOAK

ておいた秘密を影響して、別の心感でるなら、あけみは胸にかくし

題に出るさ起が降りさうな空が

は力なく立ちあがって、

には行かなかった。も

▲自午後六時十分ニュース
◆見電科學講座「最近科學文期の 概觀」第三十四回、大連神明高 ンユウベート作) ファリアにン作り ファリアにン作り ファリアに)七、 ファリアに)七、 ファリアがり十つ 一、前奏曲四

であなたは起の云ふここに多水のですれば、一切が今没籍木さんに何れほどの無下されば、程が今没籍木さんに何れほどの無いですれば、程が必ず程木さんを数へていまっては解ることはありよって

のここた傳へておきますわし さあけみは急に難に力を入れて もि起のるない時に云って下

「おけみさん、約束しました、管のなったから、何うして程木

かいし

軽い失麻からはにかへ

を救ひ出すのか、それか数へて下

ってれは譬ってもいゝわ

. 揚 ルトクド 江庄锡馬

是上詳細說明書中越次第送呈 度 嚴禁東京公一〇〇番東京 蔡 院 度 嚴禁東京公一〇〇番東京 蔡 院 度 嚴禁東京公一〇〇番東京 蔡 院 にあり、蔵一品弧のでき際に毛無き

孫館水は帝日孫館らて居ます 哲院

軟 格 性毒

(四)

三省らの騎馬賊

記順所に依り継行す

論一般に同氏の世界を東生の態人であるので

運動熱の勃興

類りに金品强奪

長春警察署で嚴探中

日滿大運動會

五 なりが脱道場の完備等適切な嫌繁を本 常暖無腕支 乗部道場の完備等適切な嫌繁を本 常暖無腕支 東子二スコートの新設、武道綾轡の されてゐると

支部提出家は大體次の三 協和の具體的態度に関す **薇會提出議案** 事中原於職市民**會** 新時局於職市民**會** 日午後二時から野 思靈祭

實業協會內支

は出来ませんわ」さあけみは云ひ ちさんを繋び出しておいて下さい。 郡は都木 ちさんを繋び出して紹繁しなければ ちさんを繋び出して紹繁しなければ 控訴はいつあるのでせうし

北満警備の○

續々北行す

主除は長春に駐屯す

【大石橋】海城縣張城長はまる十

首腦者會議

海城縣の

う。穏、あなたの総統を見なけれての時までにたえ子さん、あなたのでは、あなたのになるて下さるでせて

児童市民多数の要素 を脱谷茂重の交武

助役等出席盛會を

度更正像策勝に同い來る十九日午後のは來る十九日午後の

屍室を新築

民居は大阪府警能郡響津村垂水六軍にて出餐する事さなつた、氏の

っては、綿織のことはむの方で識って不可能だと思ひますわり は全くしてないのですから、

己の前に立ち たえ子は力なく門を出て行くやうな話しい象接

に拘らず

櫻見よこて七、今年四、はやふけて五、 星五郎」(第四席) **唄**媧田米子、三 **毒莨造製薬膏の確的能効**

弊局製劑

1 伊勢町藥局 大小胃等

伊用な達じます 語が側の両方は通信取 電話セセセ六番

尾形

京同野中隊は多大なる戦がを建して十五日午後五時撤戦院したが、 事業以来北浦に兵即諸侯の母の数 のかったった元本突衛光卿

内地の滿洲熟 想像以上

本溪湖

成器本郷を指しているれたか 一本なし小学合能三十元を振来市が設定して に大東流東北が二甲部四時代明六名 の場に厳酷しているれたが、金五十銭を鑑察しつ、 原子識より連行した人質さして抗去したが原子調より連行した人質さして抗去したが理解しているれたが整めたである。 の場に厳酷しているれたが悪いを観がしたがである。 の場に厳酷しているれたが悪いを観がしたがである。 を五十銭を鑑察したが原子を記されたが、金五十銭を鑑察したが、である。 を五十銭を鑑察しているれたが悪いと を表したが、金五十銭を鑑察したが、である。 を立ているれたが悪いと を変する。 を変する。

兇賊二虎捕る

事が収撃な多数派遣するこことな

青年聯盟組織

開原憲兵隊に

殆ご全滅す

金融組合理事更迭

日

カと微等の選走機が観探中であるたと機等の選走機が配探中であるたと、一般では近になっては近に変し本(十六日)

った、然して平安北道でも全野祭 ではゆる国盛第一総郎ち湾岸地帯を ではかる画盛第一総郎ち湾岸地帯を ではなる事になるらしく野塚 であるのではなく、い はのる国盛第一総郎ち湾岸地帯を では第一総鉱粉者は一層意を強 であるのではなく、い

國すること」なってゐる

日満大運動會協議 日満大運動會協議 五月上旬職艦される日満職合運動 指導成、駆第三小學校長、松教育 指導成、駆第三小學校長、松教育

鷲目

大連若狭町三(西通入)

田

(259)

想多

常狀態の恢復 日支兩國に對して考慮を要求

県へらるい際、ロシア代表リトビ 見した、特はス長館の否定に推ら が、1000円のでは、10000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、10

モ氏の

義勇軍

聯盟の非公開委員會

極東政策には

渡歐の目的は軍縮會議出席

しない

委員會では總會決議案の第三項を殿衛事園に強調すべきであるこいふ意味が一般に表示された議立と決議草案が日支双方で受諾し得るものなればこれを表決すること

知に接てる事を得ば欣幸さする所である。知知の他官憲の助力を得て交渉を開始すべきここを勧める、聯盟總會の交渉進展に關心前記諸國より利害關係を有する諸國の陸海軍及びその他官憲の助力を得て交渉を開始すべきここを勧める、聯盟總會の交渉進展に關心前記諸國より入議第二項。 停戦を具體的たらしめ且つ日本軍の撤退を規制する協定締結のために日支兩國代表が上海の居留地に特別な

コムミュニケ酸表『ジニネーザ十六日巻』郷職委覧倉職倉後左のコム

リカの極東政策につか

第八師團

明朝八時上陸開始、出迎へま

支那代表部 は拒否の態度

前二時)から議長と會見すること 會語長イーマンス氏の揺きに騰じ 本日午後七時(滿洲時間十七日午 本日午後七時(滿洲時間十七日午 長岡日本代表 議長と會見

たら阻止し得るこの理由により担否するに傾いてゐる、とかしイーマンス論長が依暇に聞し政治解係似は附さるべきものでないこ述べた順は存草家は日本軍撤退完了の時期の明示なくこれが決定は継續委員會に委れあり、然も継續委員會は日本の一點により全會一致の決定察を指示し日支配國の態度を質し協議したが、確賦するに日本は更に確定確草案を示されんここを契め意見を述ぶるを控へたさ、又支那『ジュネーザ十六日發』イーマンス十九國委員會委員長は十六日夜長間、觀點麼兩代表と個々に會見し、大顾の委員會に提案すべき假草

にない、後のて上澤問題にいては今は余は直接

九日事態發生以來支那暴民のため・地餐厦門へ総械した『上海十六日登』昨年十二月二十一國巡洋艦デポンシャ | 関巡洋艦アポンシャー號は今朝富 | の巡洋艦アポンシャー號は今朝富 | 大阪軍連撃のた 英艦厦門へ

約四百名

調査團は一

支那、執拗に宣傳 會總會

本海員組合

本海貿組台大連支部長額尾保氏さきに來補せる日本海貿組合献合計 合長期内長繁氏さ同行朝総額田 合長期内長繁氏さ同行朝総額田 でにおける評議就會に出席中で 月における評議就會に出席中で 社會民衆黨支持 だがこれは大野りさうでもして水だがこれは大野りさうでもして水 ○が角が生やしたさいつて暮ん

のギャングそのまと。

歌彩したり小突き難したり、機 本版れさせなかつた洋子が、今夜 KO E たる B 0







呈遊グロタカ る
す
国
が
に
計
れ
が
来
の
合
五
核
機
る
す
な
諸
金
い
白
面

な優れた

り十八、九日頃十九國公開會議を開催正式決定の段の日本後の明本報会開作者で見た。十九回会主要を 氏は午後四時半顧器歴代表で會見、十九國委 十九國委員

問題

を罹災民の敷護に當る事になから近く上海に行き市街の復男軍應募者は戦に一千に達し 簡易保險好績

に鬱戒することさなった『長春電

的論説を揚げてゐる

謎

人の被害頻々 上海の現狀を理事會に報告

南京委 員會で

後任の安藤中将

斯汗の本鷲の塞が」

2010

・髪畑つてゐるからよ」

そんな約束守るものですかし

「妾を退冶て興味を失つて後ろ

伊

藤順三

ウイグル人の國合の

大谷前要塞司令官談

づい取ることになってゐるんでせ

手に入れるとが出来るんでせうし 「それを引上げるこ大変な変を、

ほ事態發生以來日本に引揚げてゐ 外交部長は外交部の措置の費を買いている。 「南京十七日愛」十六日代政会員 「南京十七日愛」十六日代政会員 「南京十七日愛」十六日代政会員 「南京十七日愛」十六日代政会員 「南京十七日愛」十六日代政会員 「南京十七日愛」十六日代政会員 討議

> 總同盟脫退 遞友同志會は

る。置即し要を手に入れやうこすっ也速該し要を手に入れやうこす

「機先を制するのよ、

勇士達

せう

ラン、輸出五十二億フラン入越二 期フランス貿易は輸入七十三億フ 十億フランである 單獨組合組織に決定した 佛國半期貿易

小阪秘書官來任

なに好いてゐる姿を、也速該なんかに現具にされ、そのあげく財 妾あなたが大好きだわー好き 貴郎のだで

でも、戦物く彼以に避らうものならな、戦物く彼以に避らうものなら

事情な影響したことに鑑か満洲國 事情な影響したことに鑑か満洲國 ではいてはこれが脱電警戒に震ら が、東支観道警戒に震ら 護路軍を要地に配置 の警備 話 軍用列車職役事代は當地に 勞農紙誤解

によると速かに整路車をして東支 を線を區分して一區分毎に軍官を でき、これに難性を責はしめ該區 であると速かに整路車をして東支 と共産業機関級は日本非確の念蔵 挑む日館を求めてゐるものと曲解

b

北區茶園町(大田即東北) 造直 ルガ・

男士の感激+四日長~

時局談

某國委員、折衷案を提 よりす

長に高橋氏

▲長田新氏へ廣島文理科大學教権・十六日二十時着列車で來連選東ホテルへ

は生物よ」 該で二人で、どんな悪いこと様とどうなったの?姿を見い見い也速 「人間は生物だら也速酸が云ふの

でから遊げたり死なないたに、



けふの春季劍道大會

- 五版を以て祭文部野流の野権が振り上グ戦

兩陛下

お揃ひで

靖國神社行幸啓

人人の味はさながら腹塊の如きは一

込みである、全燃の災に遭つた氏産を合せ約五萬圓程度に達する見

失火器に重點を置いて取職べてる

罹災者十五戶數十名

支那人一名逃げ遅れて燒死

ができまさなった対応 は左の如く決定した なは左の如く決定した

小林町大火

三百廿六戶全燒

家

レモン

サイダー

シトロン

二十四日旅順運動場で

揚げた

明治以來の御事

繁留、午前九時上陸開

港飯の献は今日十時より盤谷繁都 港町を配せられた管地駐屯の鈴木 鈴木〇團の 美濃町の火事被害

日に亘つて北行 兵隊さんに 鐵兜型文領

午前八時から上陸を開始し

(來連

船遅る

ると共につよに自宅の

はたつよはただく 渡を現て感がしま

するばかりであった『奉天電話』

心ばかりの郷儀さへ出った、つよのなげきは

であるが、内のことは山川氏が全 が優り自分一人他人の家にあつて が優り自分一人他人の家にあつて が優り自分一人他人の家にあつて

力を得たっよは今までの

勅諭記念運動會

ラ

ム決定

るが、火元は美濃町九十九番地の一個つて国家家駅中上業野村艦店の職人で燃み艦さなつ一戦トランクを持出了業野村艦店の職人で燃み艦さなつ一戦トランクを持出了業野村艦店の職人で燃み艦さなつ一戦トランクを持出了業野村艦店の職人で燃み艦さなつ一戦トランクを持出了業別が成るが、火元は美濃町九十九番地の一個つて国家家駅中上 前に各番に手懸らにす.して、ちの

□ 『小林十六日景』十六日午前十一 つた、郷吉は大正十年四月瀬島飘 時二十分頃宮崎線画路駅都小棒町 立工業単校装機枠を発送し、海櫓 一機の発展さ便駆きため火は緩励を 養児の権力がに身を寄せてぬたも 一機の全域三百二十六戸代域二十戸 ので去る五日以来代方不明の者で み出し午後三時午離く戦火したが あつた

朝近火御見舞

完全膣殺菌藥

信頼さる

セミスは世に

をに換へられね人懐実践……程天 | 搬はればならぬがその責任が続々| でに換へられね人懐実践……程天 | 搬はればならぬがその責任が続々| でに換へられね人懐実践……程天 | 搬はればならぬがその責任が続々 憐な家庭に隱れた同情

二格姬結婚式

施 市中順より代表的機能二十四店の 清監幅より駅山電機調長外を係能 代表者要集、駅山職長の挟縛あり で表者要集、駅山職長の挟縛あり

謝近火御見舞五

本幸敏

店頭裝飾座談會

剃の行路に

苦闘する妻

称標準郷孝肯氏会議問題氏の結婚難に發表した執政会縁二格處と國 今日は執政脈は単轄から大概だでること、なっなつたが、その前目たる 執政部において遊戲に舉行されば、いよく十八日午前十時よ 十九日來連滯在

総政会域二権機は債費氏との綿織・ ・ 本無数了後十八日長務費南下大連て ・ 本新級の旅に上るが、大連には十 ・ 九日智能ケ瀬ヤマトホテルに投稿 ・ 九日智能ケ瀬ヤマトホテルに投稿

連 て十時過ぎ整合に臨み、地響観にのき映郷により際明に関するの資料に募さそれが、 一般能を立ての影響につき映郷によるの影響につき映郷によりで不後七時で、 一般歌音に臨み、地響歌をつくして、 世間である。 一般歌音に臨み、地響歌をつくして、 は明明に関する 料理講習會

調近火御見舞

高 信濃町市場舗 信濃町市場舗 謝近火御見舞 松井商行

戦闘機墜落

マルボーロ 佐智名産 逸香口 人造豆 **店衙屋路攀**



三根眼科醫院

花柳病科==||茶様、膀胱、屋 入院室完備--腎臓檢查、膀胱鏡檢查應 皮膚梅毒科—一般皮膚病等」明梅毒 電話七七七六番 尾形醫院

大学を信息が一覧語の三四四十二年前十三六六 學丸炎 慢性淋疾

はこが埋明した。同人は飛田栗の際 でが埋明した。同人は飛田栗の際 でが埋明した。同人は飛田栗の際 でが埋明した。同人は飛田栗の際 でが埋明した。同人は飛田栗の際 でからからからが、 に別車便で送ってるたものである。 で、木藤太Cでしば大連市駅機等三丁目 を低て警聴応報に撮ぐられた佐々 を低て警聴応報に撮ぐられた佐々 縊死した青年 の身許判る 犯人は密輸 大タク販賣員

が一部所報 - 十六日 整計 - 十六日 を - 十十十日 を - 十十日 新近火御見舞 業 選 職 選 種 注 大御見舞 清凉飲料 最新の設備 最上の品質 最古の歴史

社會式株酒麥嶙劇

連製氷信濃町頭所

適應症。養養農 常盤小學校前 小笠原診療院

派信官史 東京教教師 東京教教師 東京大学 東京 東京大学 内地及植民地の巡査志顧者以本會發 行の巡査養成壽義録にて合植必勝せ られよいがキャ中込灭節食朋及会員 東京集盟二ノ三五 中京集盟二ノ三五 總友 總親代人 代成 理話江八二四番



ビン西本願寺に於て の選覧が十六日報 の選覧が十六日報 の選覧が十六日報 が1合家して居たのは影響 を利車顕複事性に際、た戦反に洗って顔や手に線 を利車顕複事性に際、た戦反に洗って顔や手に線 であるが、戦反の

後妻大尉以下十二氏の追悼會

車輕傷者≧參列

亡き戦友の冥福を祈る

皇、殿蔵皇太后殿院下が明治四十年復議にて御影乗ある出された、殿院下御攡で靖國総社へ行衆密の御事は明治 「宮城御出門崎岡・献社臨時大祭へ行業幣あらせられる智県京十六日登』天皇、皇后廢除下は二十七日午前十時御

た、倚鷲日式場たる二重権削縮場には便敵の影響を役はねたは特に衝撃局にみざれて制艦あらせられる記憶せ出され来る二十四日軍人観論下舞五十周年艶念説典に際し天皇陸 『東京十六日登』

蘇乾、不妨

火元と原因 罹災者を呼出し取調

を はこれ、それに 一味変き 中畑け と 間されたので雨天でもあり火災現 かまれ、それに 一味変き 中畑け と よいから大戦のに生間を維持する。

明糖事件の 取調續行 保護部五月號で大牌城場の海戦を押し切って現在に渡る神し切って現在に

心長專務留置 場上空にて総督飛行中機関部に人 接機)は十六日戦十一時公大飛行が 接機)は十六日戦十一時公大飛行が

解と正宗

は沈勇にも数下飛により飛下り無機を機能な大破とたが、標原中間を登している。

學女優を留置

謝近火御見舞

7

石場炭

商

組

東京各大學代表から

22044

信

回戰戰績 謝近火御見舞

謝近火御見舞

海)中坂、横峰(小面)中坂、横峰(小

主催のPA草葉

人 人名西西

大會は十七日午前九時より敷制町 キリスト教育年會館に於て銀行さ れたが第一回戦の歌鏡左の妲し

九九 十八 五 六 五 六 五 六 五 五 六

連 0 4 4 3 1 12 順 9 0 3 2 0 14 旧 8 8 0 4 4 24 居 8 10 8 0 7 33 可 10 10 10 9 6 0 55 星 35 32 24 15 12

○無試験人と・東京で文部大臣指定・卒業者無

東外大井町 村野田島島





孙村 日

銀電製會の非能で、世間に於ける 第一歌を送つべくその期日は多分 五月七、八日覧と思ばれる、伴奏が

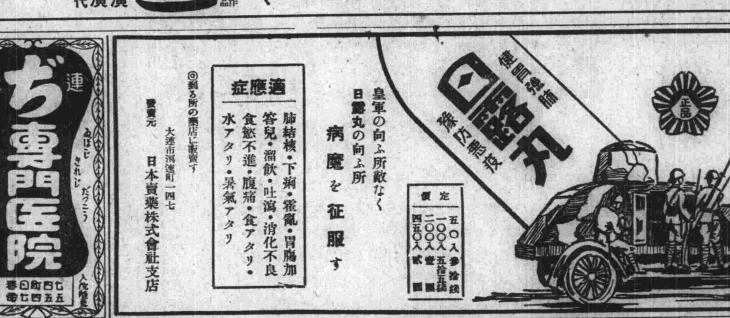
輸新棋戰民 四段▲欄口 義雄

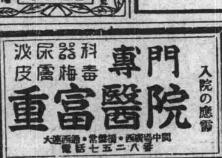
東京本郷親坂町五十二一東京本郷親坂町五十二一 農善東京四六一二 農善東京四六一二 電話小石川五一 電話小石川五一

報知新報縣野村胡堂領中島家 りにされる紋三郎の幻妙奇怪不思議な事件の渦中にまき込室 月 禮子・淡路千字

せんそくのせき マせんそくのせき マせんそくのせき

品作督監·太良浪川·峰明原笠小·作原下閣生長原笠小将中車海



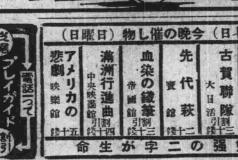








今晚と明日養夜限り 今晚と明日養夜限り 形巨星間拶挨出演● 新天治・瀬島章太郎・杉荘 中野英治・瀬島章太郎・杉荘 京会・小宮一晃・住珠子・日変 高枝・林喜美枝・山縣直代・ 大野三郎等四十名餘 大野三郎等四十名餘



渝



御家庭常備藥

軍隊最選秘藥

0

心 共 (藏事于個片 鈴十五田山 子米井酒

育婦中●常盤座 階上七十段十五十段に 階上七十段十五十段に 上十段十五十段に

理・ヤップリンの では数学の哲人が訳く泣き笑ひの人生観・イド主演の大事活劇 ルドロイド主義の大喜活劇ルドロイドが泣き泣き大手柄・アイ・バンクスの大優笑篇

たが、接続は十七日歌を殴りて、 を呈してゐる「古智歌」」な上映

十人日の上院と都督り日から三日 配コメディアンさらてその名な知 の記述を記述し、小宮一晃の駅

巴里から歸朝の

荻野綾子孃來連

五月上旬協和會館で

最初の獨唱會を開催

▽明頭カタルせき

▽結核病たんせき ▽肋膜のたんせき ▽肺病のたんせき

>小兒の百日せき

白 粉 彫 (五) 上を照し、対変を脱る状と無視に続って行く対変の中に明き落まて、略、平く船をして、略変、平く船をして、略変、平く船をして、略変、平く船をして、第五であった。 を もうぐツミ舳を 軽じて、四、 その瞬間に、突き盤つた着 き通るやうなお選の雪の肌- 独五 が暗い船の明りに照らされた透 が暗い船の明りに照らされた透 ルに、うッすらさ、白く描かれて ぬる上寸龍の洗――日練彩がチラ にいた。大急さてお蓮に着せやうこした途 にないてある白い ないである白い 大急ぎてお歌に着せやうことた途、戦闘の持つて楽た自分の着物を、

で、その船のがへ、離職をしない。その船のがへ、離職をしない。か、その時、主殿がら怒鳴つた。が、その時、主殿がら怒鳴つた。が、その時、主殿がら怒鳴つた。が、その時、主殿に大丈夫だ、艦跳、船をして大丈夫だ、艦跳、船をして 総な避けるやうに不意に鍵を上げ、 を選げるやうに不意に鍵を上げ、 を選げるやうに不意に鍵を上げ、 を選げるやうに不意に鍵を上げ、 を選げるやうに不意に鍵を上げ、 「艦頭、大急ぎで陸へ」

八十月

新力は窓に戦いられ、去る一月二 つゝありたるが、戦の道面目なる ので巴里に赴き一歌晩観に努め 晴れの舞臺に立つて、巨匠ラヴェ

がシス會は未會有の大感況を呈む 中を選べた昨夜のヤマトホテルの 中を選べた昨夜のヤマトホテルの はながってある▲さころでこの連 時間である。 入江東坊城プロの共同作品さしてとた▲即ち新興と溝口、中野プロを敷越圏の黎明」の正體がハッキリ

江川はもろくへのたんせき島頭にはから死ぬ辞等いぜんそく都作でもる。注解い上にとの高齢を受けてるる。注解い上にとの高齢を受けてるる。はから死ぬ辞等いぜんそく都作でもる。そして離離解性素でないから歌作でもる。そして離れる歌の意識を受けてるる。そして離る歌の意識を受けてるる。そして離る歌の意識を受けてるる。

漢天下待望の名篇遂に公開の時來る 上海事變を背景に海國男兒の意氣を 正に支那問題〇〇問題解決の鍵!

春日町日七 春七日五五 上

羅紗。倉厚司

狒

之

滋

YOT 日本コロンビア蓄音器端會社 0

コロンピアの妙なる曲にて コード伴奏 三〇二

遼東ホテル七階大ホール 四月十七日(日曜日)午後七時より

タンスの

0

T

0

座

智監二十並村木・マネキ獎新 客 食 な 氣 陽 演主子良川徳・兒 狂 杉

日

薬品は、治療の第一線に立つものであり、 從つて其品質精良にして、效力確實なること を絶對に必要とします。

秋三共の襲品は現代科學の到達し得る限りの知識と技術と更に誠實さを盡して製造さる しもので、いづれも其純正を誇り得るもので あります。

教三共の薬品は、其數既に數百を算し、凡 て深遠なる學理經驗の数ふるところに立脚し たる責任製品で從て效果頗る的確であります

東京日本衛室町三共株式會社

簡單に三共の薬品を説明せる「三共と その薬品」(薬品價格所)と題せる冊子から。 御希望の各位には此新聞名記入御申込 の方に限り進呈す。



オリザニン

ヴイタミンBの世界的始祖

オリザニンは、農學博士 鈴木梅太郎氏の發見に係り、本邦學界に於ける ヴィタミンBの標準品たるの權威を有す......

- 1. 各型脚氣及び乳兒脚氣
- 2. 人工榮養兒の榮養障碍
- 3. 人乳中毒症
- 4. 惡阻並に妊婦便秘
- 5. 重病經過中に來る脚氣樣疾患 並に榮養障碍及其浮腫症狀、 ヴィタミンB 缺乏に因する神 經炎症狀等に

推覧せらる

(武明書進星)

包鑒 液、末、錠、越费斯、注射液各量

世界的強力消化素

消化不良に因する總での胃腸疾患、並に消化の催進によって栄養を増進せしむる要ある凡での場合に應用し比類なき卓效あるを認めらる。タカチアスターゼは單なる澱粉消化酵素に非ずして實に蛋白、脂肪 其他多種多様の消化酵素と含有するものなり。

(説明書進星) 粉末、錠剤、張壯香等あり。

飲斗易以肝油飲料料

虚弱兒に對する無二の强壯劑

虚物元に對する無一の強紅剤 水、温湯を牛乳様に均等に混和し佳快なる芳

香さ酸味を有し、不快なる肝油の臭味を有せす 故に肝油嫌悪者も容易に服用し得る特色あり 包製 250瓦 500瓦 (散明書進星)

鎖 陂 祛 痰 新 葉

呼吸器病にして咳嗽咯痰を伸ふ凡ての場合に 賞用せらる。作用緩和絕對無害性にして老人、 幼兒にも安んじて用ひ得られ好評嘖々たり。

包装 液、末、袋各種 (說明書進星) 大連市山縣道一八一 賣 所

